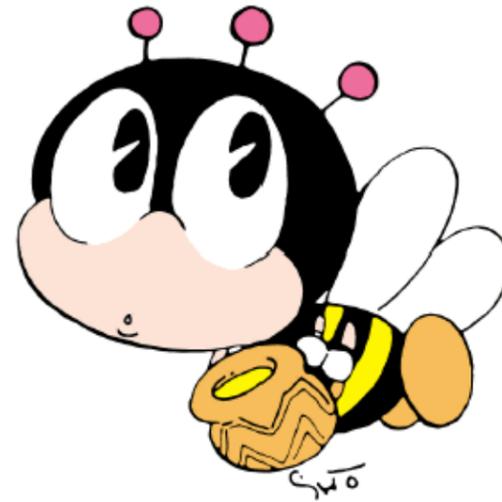


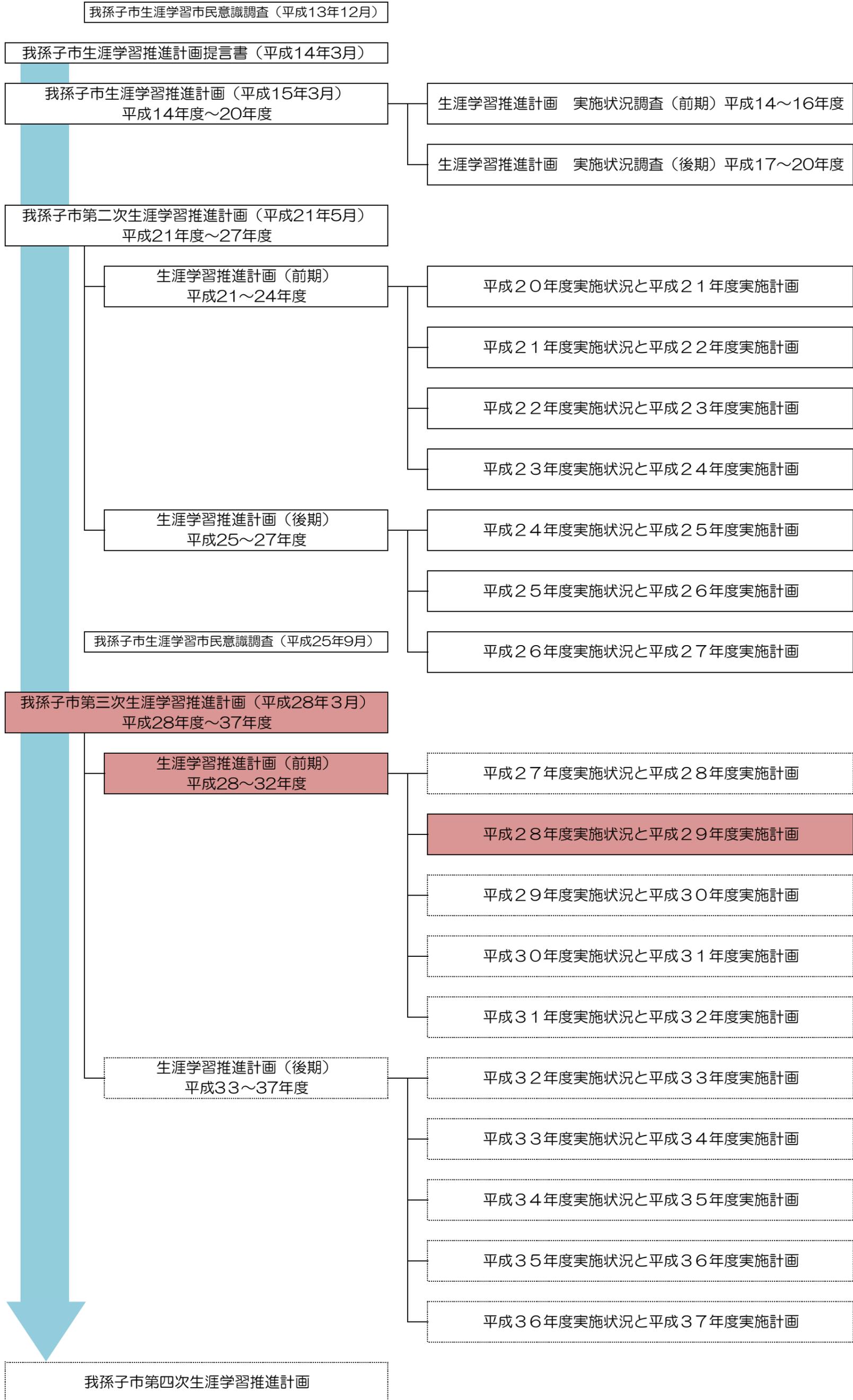
生涯学習推進計画 実施計画 実施状況調査表

～平成29年度実施状況と平成30年度実施計画～



平成30年7月

我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	1 暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	秘書広報課	1
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	2
		4 財政情報の提供	財政課	2
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2
		6 バリアフリーの情報提供事業	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	3
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	3
		8 子育て支援情報の発信	保育課	4
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	4
		10 都市計画に関する情報の管理・提供	都市計画課	4
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	5
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	5
		13 あびバス景観マップの作成	都市計画課	5
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	6
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	6
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	7
		17 生涯学習情報提供システムの整備	生涯学習課	7
		18 電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	8
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	8
		20 図書館の情報化推進	図書館	8
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	8
		22 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	9
		23 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	9
	24 生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	9	
	25 視聴覚ライブラリーの管理・運営	生涯学習課	10	
	26 図書館カウンターサービス	図書館	10	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス	図書館	10	
	28 交通安全思想の普及	市民安全課	11	
	29 集団健康教育	健康づくり支援課	11	
	30 健康フェア	健康づくり支援課	12	
	31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	12	
	32 石けん利用の推進	商業観光課	12	
	33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	13	
	34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	13	
	35 生涯学習推進本部の運営	生涯学習課	14	
	36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	15	
	37 読書普及活動	図書館	15	
	38 図書館PR	図書館	16	
	39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	16	
40 まちづくり探検隊	子ども支援課	17		
41 子どもの居場所づくり事業【あびっ子クラブ】	子ども支援課	17		
42 谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	18		
43 手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	18		
44 手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	18		
45 ジャパンバードフェスティバル	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	19		
46 地区計画制度の活用への支援	都市計画課	19		
47 我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	19		
48 市民カレッジ 我孫子を知るコース	生涯学習課	20		
49 市史調査研究	文化・スポーツ課	20		
50 郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	20		
51 文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	21		
52 埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	21		
53 考古遺物整理	文化・スポーツ課	21		
54 あびこ自然観察隊	鳥の博物館	22		
55 てがたん(手賀沼の自然観察会)	鳥の博物館	22		
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	①地域への関心を高める学びの機会の推進			

体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁		
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	56 子どもNPOボランティア体験	市民活動支援課	23		
		57 後期離乳食教室	健康づくり支援課	23		
		58 しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	23		
		59 離乳食教室	健康づくり支援課	23		
		60 手賀の丘ふれあい宿泊通学	子ども支援課	24		
		61 あびこ子どもまつり	子ども支援課	24		
		62 げんきフェスタ	子ども支援課	24		
		63 enjoyパパ応援プロジェクト	保育課	25		
		64 子育て支援施設における講習	保育課	25		
		65 こども議会	指導課	26		
		66 長寿大学	生涯学習課	26		
		67 成人式	生涯学習課	27		
		68 熟年備学	生涯学習課	27		
		69 家庭教育学級	生涯学習課	28		
		70 のびのび親子学級	生涯学習課	28		
		71 アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	29		
		72 子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	29		
		73 成人・青少年への図書館サービス	図書館	30		
		74 児童への図書館サービス	図書館	31		
		75 子どもの読書活動推進計画の策定	図書館	32		
		③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	76 男女共同参画講演会の実施	秘書広報課	32	
			77 平和事業	企画課	33	
			78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	33	
			79 メンタルヘルス啓発講座	障害福祉支援課	34	
			80 失語症家族教室	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	34	
			81 手話講習会・読話講習会	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	34	
			82 家族介護教室	高齢者支援課	35	
	83 認知症の方の家族のつどい		高齢者支援課	36		
	84 健康生活月間講演会		高齢者支援課	36		
	85 高齢者虐待防止講演会		高齢者支援課	36		
	86 遊具うんどう教室		高齢者支援課	37		
	87 環境学習の推進		手賀沼課	37		
	88 消費生活講座		商業観光課	38		
	89 緑の講習会		公園緑地課	38		
	90 栄養教諭を中核とした食育推進事業		学校教育課	39		
	91 生涯学習出前講座の運営		生涯学習課	39		
	92 生涯学習普及啓発事業		生涯学習課	40		
	93 人権教育		生涯学習課	41		
	94 スポーツ教室事業		文化・スポーツ課	41		
	95 地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～		文化・スポーツ課	42		
	96 鳥の博物館企画展		鳥の博物館	42		
	3 多様な学びの場のあるまちづくり		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	97 市民農園維持管理事業	農政課	43
				98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	43
				99 ふれあい工房の運営管理事業	クリーンセンター	44
				100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画課、生涯学習課	44
				101 地域交流教室の提供	生涯学習課	44
				102 公民館施設管理運営	生涯学習課	45
				103 湖北地区公民館空調設備更新工事 【事業完了】	生涯学習課	45
				104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	45
		105 施設予約システムの運用		生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動支援課	45	
		106 市民体育館管理運営		文化・スポーツ課	46	
107 体育施設管理運営事業、維持補修		文化・スポーツ課		46		
108 武道施設の建設整備の検討		文化・スポーツ課		46		
109 市民体育館維持補修、改修事業		文化・スポーツ課		46		
110 学校体育施設開放事業		文化・スポーツ課		47		
111 ふれあいキャンプ場管理運営		文化・スポーツ課		47		
112 文化財等の保存と活用		文化・スポーツ課		47		
113 杉村楚人冠記念館の保存と活用		文化・スポーツ課		48		
114 旧井上家住宅の保存と活用		文化・スポーツ課		48		
115 白樺文学館の運営		文化・スポーツ課		48		
116 手賀沼文化拠点整備計画の推進		文化・スポーツ課		49		
117 移動図書館業務		図書館		49		
118 湖北地区図書館の整備		図書館		49		
119 図書館会議室及び展示スペースの提供		図書館		50		
120 鳥の博物館管理運営		鳥の博物館	50			
121 鳥の博物館空調設備更新工事 【事業完了】		鳥の博物館	50			
122 鳥の博物館展示リニューアル		鳥の博物館	51			
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用		123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	51		
		124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	51		
		125 手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	51		
		126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	52		

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	127 (再掲) 生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	52
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	52
		129 (再掲) 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	52
		130 アビスター次保育事業	生涯学習課	53
		131 (再掲) 生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	53
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	132 文化事業市民スタッフ	文化・スポーツ課	53
		133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	54
		134 失語症会話パートナー養成講座	障害福祉支援課(障害者福祉センター)	54
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	54
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	55
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	55
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	56
		139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施	生涯学習課	56
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	57
		141 スポーツ指導者の研修制度の確立	文化・スポーツ課	57
	③学んだ成果を評価するしくみの構築	142 市民コンサート	文化・スポーツ課	58
		143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	58
		144 文化祭	文化・スポーツ課	59
		145 寄贈絵画展	文化・スポーツ課	59
		146 めるへん文庫	文化・スポーツ課	59
147 (再掲) 郷土芸能への支援		文化・スポーツ課	59	
148 (再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業		文化・スポーツ課	59	
5 学びでつながるまちづくり	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	149 市民のチカラ	市民活動支援課	60
		150 (再掲) あびこ子どもまつり	子ども支援課	60
		151 (再掲) げんきフェスタ	子ども支援課	60
		152 学校支援事業の充実	指導課	60
		153 (再掲) 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	61
		154 (再掲) 長寿大学	生涯学習課	61
		155 (再掲) 家庭教育学級	生涯学習課	61
		156 (再掲) のびのび親子学級	生涯学習課	61
		157 (再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース	生涯学習課	61
		158 在住外国人支援事業	企画課	62
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	159 公募補助金制度の運用	市民活動支援課	63
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民活動支援課	63
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	63
		162 我孫子市創業支援事業	企業立地推進課	64
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	65
		164 (再掲) 視聴覚ライブラリーの管理・運営	生涯学習課	65
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	65
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	65
		167 (再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	65
		168 施設・団体へ図書等の貸出サービス	図書館	66
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築	169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	66
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	67
		171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画課	67
		172 消費生活展の実施	商業観光課	68
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	68
		174 (再掲) 健康フェア	健康づくり支援課	68
		175 (再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	68
		176 青少年相談員事業	子ども支援課	69
		177 (再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	69
		178 子育てフェスタ	保育課	70
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	70
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	70
181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	指導課	71		
182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	71		
183 (再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	72		
184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	72		
185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	72		

■ …事業廃止または完了

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり			基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		
①学びへの情報提供体制の充実		①学びへの情報提供体制の充実			①学びへの情報提供体制の充実		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、 相談できるまちづくり	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	<p>※ガイドマップは現在作成していない(平成28年度に商業観光課へ事業移管)。ここでは平成25年度から発行しているガイドブック「ABI ROAD」について記載する。</p> <p>●ガイドブック「ABI ROAD」 ・AR動画等を追加して内容の改訂を行い、外国語版として新たに韓国語版を作成した。</p> <p>日本語版 5,000部、英語・中国語・韓国語版 各2,000部 ・都内観光情報発信拠点、千葉県観光物産館(千葉市)・情報館(木更津市)、県内(千葉市・我孫子市)ホテル等に配置する。</p> <p>●暮らしの便利帳 ・発行なし ◇◆指標と実績◆◇ ●ガイドブック「ABI ROAD」発行部数… 日本語版 5,000部、英語・中国語・韓国語版 各2,000部</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●ガイドブック「ABI ROAD」はAR機能を追加し改訂を行ったほか、新たに韓国語版も作成した。</p> <p>市内各施設のほか、都内の観光情報発信拠点施設や県内の同様の施設において、配布したことにより市の魅力を発信することができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>●ABIROADについては引き続き配布を行う。在庫状況を確認しながら平成31年度に増刷予定。</p> <p>●暮らしの便利帳については、平成31年度に発行予定。</p> <p>※ガイドマップは現在作成していない(平成28年度に商業観光課へ事業移管)。</p>	秘書広報課	
	広報「あびこ」の編集・発行	<p>前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。</p> <p>●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。 【発行部数】 平成29年4月16日号～平成30年4月1日号 50,000部</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【広報あびこ発行部数】 平成29年4月16日号～平成30年4月1日号 50,000部</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。</p>	<p>新聞折り込み部数が減少したため発行部数を変更</p> <p>【広報あびこ発行部数】 平成30年4月16日号～平成31年4月1日号 47,000部</p>	秘書広報課	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	3	男女共同参画情報紙の発行 男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	年2回発行。 ●男女共同参画情報紙「かがやく」 【発行回数】 年2回(9月、3月) 【発行形式】 A4・4ページ(全ページカラー) 【発行部数】 45,000部。自治会を通じ全戸に配布するほか、市公共施設等にも配置。 【33号】特集「我孫子から はばたけ! 農業女子」 【34号】特集「いいね、なるほど、それなら私も! ~自治会長に性別問わず~」 ◇◆指標と実績◆◇ 【情報紙発行部数】90,000部 (2回発行、各45,000部)	A. 成果・効果があった 近隣や都内自治体に資料交換および設置配布を依頼しているが、追加部数の希望など幅広く評価を得ている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	秘書広報課
	4	財政情報の提供 広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 《4月》平成29年度当初予算の概要 《7月》平成28年度下半期予算の執行状況 《11月》平成30年度予算の編成方針 《12月》市の財政状況「平成28年度普通会計決算と平成29年度上半期の執行状況」 《3月》平成30年度予算の編成状況 《3月》平成28年度普通会計財務書類4表 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ●出前講座 【テーマ】我孫子の財政 【日時】平成29年5月17日(水)13時30分～15時30分 【参加者数】 15名 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 ・目標値 7,000件 ・実績 2,495件	A. 成果・効果があった ・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。 ・出前講座に財政課職員が講師として出向き、我孫子市の財政状況を理解していただいた。 ・より多くの市民に財政について興味を持ってもらうため、難解な専門用語や仕組みをさらに分かりやすく伝える必要がある。	A. 現状どおり推進 なし	なし	財政課
	5	食に関する情報の提供及び啓発の充実 食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事を増やすために、食に興味・関心を持ったための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食品を購入したり外食や調理済み食品を利用する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行った。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動に加えて、がん集団検診の会場でパネルやフードモデルを用いて啓発活動を実施した。また、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行った。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行った。 ●食育だより 【発行月】 6月、9月、12月、3月の計4回 【配布枚数】 13,000枚/号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」を開催。 平成29年度の利用は1回11名。 ●公民館講座 湖北地区公民館にて調理実習と講話『メタボを防ごう! 体感500キロカロリーの食事』を開催。 平成29年度の利用は1回12名。 ●がん集団検診での啓発展示 平成29年度に実施した集団検診(胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診)の会場で啓発展示を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【食育便り発行枚数】 61,000枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか100%	A. 成果・効果があった ・食育だよりの配布により日ごろ健康づくり支援課実施事業への参加が少ない小中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことで、食育計画の目標である「食に興味・関心を持つ人を増やす」ことに多少はつながったと考えられる。 ・出前講座等に参加した方に対し、今後の食生活改善につながる啓発を行うことができた。 ・掲示物・啓発物を作成しているが、対象となる人が少なく、また、講座や検診、食育だより等の購読を申し込むような健康づくりに関心の高い層・年齢が高めの層に限られてしまう。	B. 改善・見直しを行う ・若い世代に対し啓発していく方法があるか検討していく。 ・出前講座等の利用が少ないため、啓発掲示の中で出前講座の案内を行い、利用者増を目指していく。	・消費者庁の作成する『消費者の健康づくりのための栄養成分表示の活用促進について』を活用した、年代ごとの食生活・食品選びの注意点についての啓発を加えていく。	健康づくり支援課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	6	<p>バリアフリーの情報提供事業</p> <p>市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーお出かけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【ホームページへのアクセス数】 14,761件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>バリアフリー状況調査の結果に基づき、ホームページ「バリアフリーお出かけマップ」の内容を更新し、情報提供を行うことができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーお出かけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行う。</p>	特記事項なし	障害福祉支援課 シタ 障害者福祉セ
		7	<p>子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営</p> <p>子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。</p> <p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,700部を発行 【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院や公共施設に直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布した。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、29年度同様に市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あび子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信。</p> <p>●ホームページ 紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、「あびっ子ネット」ホームページを運営する。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あび子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行った。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】 年5回発行 新緑号 29年4月21日発行 17,700枚 夏特大号 29年7月14日発行 16,700枚 秋号 29年10月6日発行 16,315枚 冬号 29年12月1日発行 16,350枚 春号 30年3月9日発行 16,350枚</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民団体や個人、公共団体が企画し地域で行われる子どもと保護者向けの催し物やお知らせ、参加者の体験等に関する情報を発信することにより、催し物等への参加・体験を促し、子ども達の健やかな成長を育むことを支援できた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>課題を解消するにあたり、あび子どもネットワークへ委託をお願いする仕様書に細かい記載を追加した。団体の持つノウハウを生かしながら、今後も編集活動・HPの維持を行ってもらう。</p>	小・中学校への配付がクラスごととなる。	子ども支援課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	8 子育て支援情報の発信 乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しさを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。	●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しまう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」 ●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】4広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】500枚発行 ●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時 ●インターネット 随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」・イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ)の作成 ・「enjoyパパ」「子育て支援施設」「子育て支援サービス」など、子育て支援センターのタッチパネルでの情報提供・市フェイスブックに子育て情報を投稿 ●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など ●「我孫子市の子育て情報を得るには」「スマイル・ママ、ベビーのHAPPYタイム」「るんるんパーク」の案内チラシ作製「我孫子市子育て支援施設」改訂 ◇◆指標と実績◆◇ 【相談件数】1295件	A. 成果・効果があった 多様な情報を提供しているため、利用者が自分のニーズに合った情報を気軽に選んで利用できるようになってきている。窓口では、保育コンシェルジュへの子育て支援サービスへの問い合わせも増えている。利用者が情報を活用することで、育児不安や孤立化を防ぐことができ、家庭での子育ての悩みを解消できるようになっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	保育課	
		9 手賀沼情報の提供 手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや市内の掲示板で提供し、手賀沼に対する関心を深める。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載した。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【掲示場所】JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、市役所分館庁舎1階、アビスタ、手賀沼ビオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所 20箇所	A. 成果・効果があった 市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。中には掲示板を見て質問してくる市民もいた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし		手賀沼課
		10 都市計画に関する情報の管理・提供 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 7496件	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。 窓口での対応時に使用する都市計画運用図において、地形地物の情報が平成19年以降更新できていない。窓口来庁者から、都市計画情報をその場で印刷・販売してほしいという声や、ホームページの都市計画図閲覧ページにおいて、スクロールができるようにしてほしい、色を薄くして字が読めるようにしてほしい等の改善要望がある。	A. 現状どおり推進 なし	なし		

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	11	都市計画図等の作成・管理事務 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者へ広く提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。 ◆◆指標と実績◆◆ 【販売枚数】 84枚	A. 成果・効果があった 市民及び事業者へ情報を提供することができた。 販売用図面のベースとなる地形地物の情報が、平成19年以降更新できていない。	A. 現状どおり推進 ・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。	都市計画の変更を予定しているため、告示後の内容で都市計画図を印刷する。地形地物の情報を更新するため、都市計画基本図修正に向けて、情報収集および予算要求準備を進める。	都市計画課
	12	景観形成情報発信・啓発事業 多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体との協働によるイベント実施や、印刷物の発行、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●我孫子のいろいろ八景歩きの実施 市民の応募により我孫子の魅力ある景観ポイントに選ばれた「我孫子のいろいろ八景」を巡るイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を実施した。 ①平成28年度既存コースの再実施(各コースの定員は25人) ・「古道をたどり森と水辺が招く古利根コース」【実施日】6月4日(日)【参加者】33名 ・「新木・古戸の古社と里を巡るコース」【実施日】6月6日(火)【参加者】26名 ・「白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース」【実施日】6月8日(木)【参加者】25名 ・「守られた自然」かじ池・谷津を巡るコース【実施日】6月12日(月)【参加者】26名 ②平成29年度新規4コースの実施(各コースの定員は25人) ・「マンションストリートから森をぬけるつくし野コース」【実施日】10月15日(日)【参加者】13名(25名申し込みがあったが、小雨で決行したため、参加者が減少) ・「利根川と布佐の里道を歩くコース」【実施日】11月4日(土)【参加者】13名(23名申し込みがあったが、当初実施予定日が雨天で延期となったため、参加者が減少) ・「ハケの道と坂道の岡発戸こもれびコース」【実施日】11月5日(日)【参加者】24名 ・「将門伝説の地と中里市民の森を行くコース」【実施日】11月12日(日)【参加者】17名(22名申し込みがあったが、当初実施予定日が雨天で延期となったため、参加者が減少) ●我孫子のいろいろ八景歩き関連マップの作成 平成29年度新規4コースのマップ及び市内の水にまつわる景観を紹介する「水八景マップ」を作成し、市内各公共施設で配布すると共に、我孫子市ホームページに掲載した。 【印刷部数】 ・平成29年度新規4コースのマップ 1コースにつき3000部 ・水八景マップ 2000部 【配布先と設置場所】都市計画課、アピシルベ、アピスタ、市民プラザ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、水の館、行政サービスセンター ◆◆指標と実績◆◆ ●我孫子のいろいろ八景歩き参加者(29年度実施分8コース合計) 177人	A. 成果・効果があった ●我孫子のいろいろ八景歩きの実施 ・参加者アンケートでは、参加者の76%から、「八景歩きの実施は、我孫子の景観に関心を持ってもらう上で効果がある」との回答を得られた。 ・各コースの景観ポイントをガイドしながら散策する事を通じて、我孫子の魅力ある景観を広めるきっかけづくりが出来た。 ●我孫子のいろいろ八景歩き関連マップの作成 ・一部の施設では、配布してすぐに品切れになる等、好評を博しており、我孫子市の魅力ある景観を周知する効果があった。 ●我孫子のいろいろ八景歩きの実施 ・参加者の多くが60代以上であり、若い世代の参加者が少ない点が課題である。	A. 現状どおり推進	成田線の電車の車窓から見える我孫子の魅力的な景観を紹介する「成田線車窓八景マップ」を新たに作成する。	都市計画課
	13	あびバス景観マップの作成 多くの市民に景観への関心を持ってもらうとともに、あびバス利用の促進や観光資源としての活用を図るため、市民団体と協働して、あびバス景観散策マップを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●「あびバス景観散策マップPart4 布施・根戸ルート編」が完成し、市内各公共施設で配布すると共に、我孫子市ホームページに掲載した。 【印刷部数】4000部印刷 【配布先と設置場所】都市計画課、アピシルベ、アピスタ、市民プラザ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、水の館、行政サービスセンター、近隣センター ◆◆指標と実績◆◆ 【平成29年度の「あびバス景観散策マップPart4 布施・根戸ルート編」配布部数】約2000部	A. 成果・効果があった ・作成したマップは、多くの人に手に取っていただき、我孫子市の魅力ある景観を周知すると共に、あびバスの利用促進にも効果があったと考えられる。 ・マップを紹介する記事が、「東京新聞」、「朝日新聞」、「みんなの情報誌」に掲載されるなど、メディアの反響も大きかった。 なし	C. 廃止・休止	なし	都市計画課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	14 住宅情報の総合的提供 市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	市ホームページや広報を活用の他、関連課等と連携しながら広報手段を検討し、必要とされる情報を幅広く発信する。 ●住まいに関わる情報発信（ホームページ） ・住まいに関わる相談（住宅、不動産相談） ・マンション管理（セミナー、個別相談） ・住まいに関わる助成、補助（若い世代の住宅取得、住宅リフォーム補助金） ・市営住宅（入居募集、団地詳細）（広報等） ・若い世代の住宅取得補助金（5/1、7/1、11/16、3/16） ・我孫子市住宅リフォーム補助金（4/1、11/16） ・マンション問題個別相談会（3/16、9/16、1/16） ・マンション管理セミナー（5/16、11/16） ◇◆指標と実績◆◇ 【住宅・不動産相談申込件数】 住宅相談 8件 不動産相談 22件 マンション管理（セミナー：5団体、個別相談：5団体） 若い世代の住宅取得補助金：305件 住宅リフォーム補助金：180件	A. 成果・効果があった 若い世代の住宅取得補助金では制度の変更について、ホームページで積極的に情報発信し、大きなトラブルなく制度の移行ができた。 住まいに関わる相談件数は年々減少しており、ホームページや広報以外での周知も検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進	各制度を単独で周知するのではなく、関連する制度を合わせて効果的に情報を発信していく。引き続き、市ホームページや広報を活用するほか、関連課等と連携を取りながら、情報を発信していく。	建築住宅課
		15 水道広報活動推進事業 水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回（No.47 5/16号・No.48 11/16号）発行 ・新聞折り込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ●水道施設見学会 【対象者】小学生3～6年生とその保護者 【募集人数】24人 【実施日】平成29年8月10日【参加者数】15人 ●水道水のPR ・広報やイベントでの我孫水（ペットボトル）配付を通して、水道利用者に、水道水の安全性、おいしさをPRした。 ◇◆指標と実績◆◇ 【「あびこの水道」発行部数】 51,500 部 （年2回 103,000 部）	A. 成果・効果があった ●水道施設見学会 水道施設見学会実施後のアンケートでは、楽しかった、わかりやすかったといった意見を頂いた。 なし	A. 現状どおり推進	【「あびこの水道」発行部数】 48,500 部 「広報あびこ」に倣い、新聞折込数を3,000減ずる。年2回の発行に加え、10/1に給水開始50周年の臨時号を発行する。	水道局経営課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、 相談できるまちづくり	16	生涯学習情報の発信 各課で実施する生涯学習関連事業について、「あびこ楽校ニュース」や「生涯学習のホームページ」などにより広く情報の発信を行い、生涯学習関連事業の活用を拡大を図る。	<p>●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。</p> <p>●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として発行。 【印刷部数】 33号:3,000部 【配付先と設置場所】 教育委員会、市役所本庁ロビー、水の館、アピスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白禪文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アピシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会、こども発達センター 《33号》 【発行日】5月16日 【内容】水の館グランドオープン、水環境保全啓施設 農業拠点施設 水の館、てがたん、生涯学習出前講座紹介(市民講師メニュー)</p> <p>●(楽)マーク 各課で実施する生涯学習関連事業について、広報掲載時にあびこ楽校事業として【楽】マークを付けて、生涯学習事業の周知・普及を図った。 【年間掲載数】 323件 ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】 4,952件</p>	<p>A. 成果・効果があった 水の館が我孫子市の所管となり6月3日にリニューアルしグランドオープンするにあたって、特集を組んだあびこ楽校ニュース33号は、印刷部数3000部が全てはけてしまい、多くの市民の方に手にとって読んでもらえたことが分かる。</p> <p>あびこ楽校ニュースならではの強みや良さを確立していく必要がある。自治会配付が禁止となってしまった現状があり、あびこ楽校ニュースを現行の方法で発行し続けることが効果的なのか改めて検討する必要がある。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う あびこ楽校ニュースの発行形態や内容について再度検討し、より効果的な情報発信の方法を見つけていく。</p>	なし	生涯学習課
	17	生涯学習情報提供システムの整備 学習や活動を行う市民や団体が自ら情報を提供することができるホームページの作成する。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。	<p>平成28年度事業廃止 ◇◆指標と実績◆◇ なし</p>		<p>C. 廃止・休止</p>		生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	18	<p>電腦考古博物館の運営</p> <p>我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。</p>	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財などの情報更新を行っていく。</p> <p>◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 2,401件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>イベント情報などを適切にアップすることにより、電話問い合わせを多く受けた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>埋蔵文化財の発掘遠報、文化財関係のイベントについて、できるだけ速やかに情報を発信していく。</p>	なし	文化・スポーツ課	
	19	<p>図書館における郷土・行政資料サービス</p> <p>多くの市民に我孫子市や千葉県 の郷土や行政に関心を持ってもらうため、郷土・行政資料の収集・保存・提供に努め、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。我孫子市の資料については、アビスタ本館が中心となり、収集・保存する。</p>	<p>我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供する。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。 白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講演会の開催を行った。</p> <p>◆指標と実績◆◇ 【郷土行政資料(我孫子資料・千葉県資料)の年間貸出冊数】 3,986冊(昨年度比 102.4%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に関わるための一助となった。また、市の文化施設と連携することにより、郷土資料の充実及び事業のPR・共同開催を図り、互いに利用を促進することができた。</p> <p>「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携することが欠かせない。また、他の市内文化施設とも連携して展示や資料提供の工夫をしていく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>郷土資料の買い替えや複本の購入を進め、市役所各課と連携することで、我孫子市でしか入手できない資料を収集・保存・提供できた。我孫子市として後世に伝えていくべき文化遺産を今後も収集・保存・提供していくため、引き続き推進していく。</p>	なし	図書館	
	20	<p>図書館の情報化推進</p> <p>図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることができる新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。</p>	<p>図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処した。館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努めた。新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。</p> <p>◆指標と実績◆◇ 【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 97千件(昨年度比 98.5%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>高度なレファレンス(調べもの)に対応するため、外部データベースの導入及びインターネットの活用は必要不可欠である。電算システムを的確に運用することにより、市民の利便性が向上した。</p> <p>市民の図書予約システムの認知度を向上させる必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>高度なレファレンス(調べもの)に対応するため、外部データベースの導入及びインターネットの活用は必要である。また、電算システムを整備することは、市民サービスの向上につながり、現状どおり推進する必要がある。</p>	なし	図書館	
21	<p>鳥の博物館ホームページの運営</p> <p>鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。</p>	<p>昨年度に引き続き、企画展やイベント情報など最新情報を発信していく。</p> <p>【ホームページ更新回数】 156回 ◆指標と実績◆◇ 【ホームページ更新回数】 指標:160回 実績:156回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>ホームページで情報を得てイベントに参加する市民も多く、一定のPR効果があると考えられる。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館		

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	②学びにつなげるための相談体制の充実							
	22	生涯学習学習相談体制の整備 市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるよう学習相談体制を整備する。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。 各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。 《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール ◇◆指標と実績◆◇ 【学習相談件数】約80件	A. 成果・効果があった 生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報のホームページや閲覧用冊子を参照した方からの問い合わせが多数あった。出前講座メニュー表を配布することで、市民に主体的な学習機会を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	生涯学習課	
	23	生涯学習人材バンクの整備 市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報について、随時登録募集を行い、情報数を増やす。 課内の情報共有を行い、問い合わせに対し迅速に回答できるようにする。 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録件数】 人材情報 2件、団体情報 3件	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方からの問い合わせが多数あった。 なし	A. 現状どおり推進 「生涯学習人材情報」と「生涯学習団体・グループ情報」を3年毎に定期更新する。次回平成30年度予定。	なし		生涯学習課
24	生涯学習ボランティア 出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。	市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図る。 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 6人 あびっ子クラブサポーター 203人 《保育課》 子育て支援施設子育てボランティア 57人 子育てサポーター 89人 保育園における災害時協力員 15人 インターンシップ 22人 《指導課》 学校支援ボランティア 833人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 29人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 30人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 10人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 10人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 58人、7団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 14人 ◇◆指標と実績◆◇ 【平成28年度末 ボランティア登録数】 《個人登録数》 1,376人 《団体登録数》 26団体	A. 成果・効果があった 様々な経験や専門的知識を地域で活かそうとする市民ボランティアの方の協力を受け、生涯学習を推進することができた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	生涯学習課他6課		

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	25	視聴覚ライブラリーの管理・運営 現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理しながら、広く市民や団体に貸し出し、市民の生涯学習活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●視聴覚教材及び機材の貸出(通年) 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】 509件(機材別集計の合計) 【視聴覚教材利用件数】 16ミリフィルム:77件(昨年度比 -28件) ビデオソフト:4件(昨年度比 ±0件) DVD:82件(昨年度比 +37件) 合計 163件 ●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプセットなど約20種類の機材 ・16ミリフィルム:325本 ・ビデオソフト:187本 ・DVD:215本 ●視聴覚教材の保守点検 【日程】平成29年10月10日～12日 【16ミリフィルム保守点検数】 70本 <p>◇◆指標と実績◇◆ 【視聴覚ライブラリー利用件数(機材・教材の合計)】 406件</p>	A. 成果・効果があった 広く市民に視聴覚教材・機材の貸し出しを行い、市民の学習活動を支援することができた。	B. 改善・見直しを行う 視聴覚ライブラリーの設置から社会状況が大きく変容し、視聴覚教育の浸透や学習形態の変化・多様化が進み、当初の目的は達成したと考えられるため、本事業について平成30年度中に検討を行う。	視聴覚ライブラリー条例を廃止するが、新たに視聴覚教材・機材管理運営要綱を制定し、保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行っていく	生涯学習課
	26	図書館カウンターサービス 図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。 ・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アビスタ本館は午後8時まで閉館した。 ・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。 ・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。 <p>◇◆指標と実績◇◆ 【年間貸出冊数】1,088,659千冊(昨年度比 95.2%) 【年間貸出利用者数】288,701人(昨年度比 95.8%)</p>	A. 成果・効果があった 我孫子市の1人あたりの貸出冊数は千葉県でもトップクラスであり、多くの市民が利用した。幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠である。	A. 現状どおり推進 市民が学びたいときに学べる学習機会の充実が必要であり、今後も引き続き推進していく。	なし	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	27	図書館利用に障害のある方へのサービス 録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デージー録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。 また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。 <p>◇◆指標と実績◇◆ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 91回 《郵送貸出サービス(デージー録音図書含む)》 1,025回 《宅配サービス》 192回 《窓口でのデージー録音図書貸出》 253回</p>	A. 成果・効果があった 様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。	A. 現状どおり推進 様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにも、PR等の工夫をして一層の利用促進に努める必要がある。	なし	図書館

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、 相談できるまちづくり	28	交通安全思想の普及 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全思想の普及を図る。	<p>③学びへの関心を高めるための啓発の充実</p> <p>保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をします。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習します。</p> <p>【日程・対象・参加者数・内容】</p> <p>4月10日(月)我孫子中1年 296人 自転車、4月13日(木)布佐中1年 88人 自転車 4月14日(金)白山中1年～3年 746人 自転車、4月25日(火)湖北台西小3年～4年 111人 自転車 4月25日(火)湖北台西小5年～6年 115人 自転車、4月26日(水)布佐南小4年～6年 74人 自転車 4月26日(火)布佐南小1年 31人 歩行、2～3年 68人 歩行 4月27日(木)湖北小1～2年 126人 歩行、4月28日(金)湖北台西小1～2年 102人 歩行 5月2日(月)第二小1年 79人 歩行、5月8日(月)高野山小1年 113人 歩行 5月11日(木)わた幼稚園園児 117人 歩行、5月12日(金)我孫子技術専門学校生徒 48人 自転車 5月16日(火)ほけつとランドあびこ保育園 52人 歩行、5月17日(水)東あびこ聖華保育園124人 歩行 5月18日(木)久寺家中1年193人 自転車、5月22日(月)ひかり幼稚園園児180人 歩行 5月24日(水)根戸小1年125人 歩行、5月30日(火)聖華みどり保育園園児80人 歩行 5月31日(水)湖北台東小3年 95人 自転車、6月1日(木)湖北台東小1～2年 95人 歩行 6月2日(金)第一小3年 104人 自転車、1～2年 179人 歩行、6月5日(月)高野山小2年 105人 歩行 6月6日(火)新木小1～2年 144人 歩行、3年 94人 自転車 6月7日(水)並木小1年 64人 歩行、3年 62人 自転車 6月9日(金)新木小4～6年 257人 自転車、6月12日(月)湖北小3～4年 125人 自転車 6月19日(月)第四小1～2年 296人 歩行、3～4年 294人 自転車 6月20日(火)禮和保育園園児 64人 歩行、7月4日(火)布佐小1～2年62人 歩行、3年 31人 自転車 7月12日(水)第三小3年 108人、自転車、10月17日(火)第四小3年133人 自転車 11月9日(木)湖北台保育園園児 100人 歩行</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【交通安全教室延べ開催回数】 52回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもたちへの交通安全に対する認識を高めることができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>③学びへの関心を高めるための啓発の充実</p> <p>前年度と同様に実施(変更点なし)</p>	市民安全課
	29	保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。 【内容】がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数10,394人(集団:子宮頸がん検診2,903人、乳がん検診4,123人(マンモグラフィ検査2,945人、超音波検査1,178人)、胃がん検診3,006人、骨粗しょう症検診362人) ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者(延べ人数)】 10,394人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>疾病の一次予防の推進を図ることができたと考える。</p> <p>集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>集団検診での健康教育は、定期的に一定人数に啓発できる場であり、内容検討しながら継続実施とする。</p>	なし	健康づくり支援課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	30	健康フェア 健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。 【日程】11月19日 【場所】アピスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【共催】(公財)健康・体力づくり事業財団 【内容】テーマ「健康貯金をはじめよう！」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施。 【参加者】延べ2,702人 ◆◆指標と実績◆◆ 【来場者アンケート】 ≪「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合≫ 93.1%	A. 成果・効果があった 来場者アンケートでは、「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた方が93.1%を占めた。また、貯筋体操の講演会を実施し、親子で貯筋体操を学ぶことができた。事業を通して健康づくりへの意識向上を促せたと考える。 なし	A. 現状どおり推進	アピスタ空調設備工事の関係で、実施日及び会場が変更となった。 【日程】10月7日 【場所】アピクオーレ	健康づくり支援課
	31	廃棄物に関する教育啓発事業 我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	イベントや小学生を対象にした施設見学は、新規焼却施設建設準備に係る解体工事のため34年度末まで休止の予定。出前講座については、市民講座と内容が重複するので市民講座で記述。 ◆◆指標と実績◆◆ 【事業開催回数】 0回	C. 未実施・わからない なし	B. 改善・見直しを行う 事業内容が、基本目標1、施策③と重複するため、当該事業については、広報やホームページ等を通じた啓発事業とした。	当該事業の趣旨、目的のため今後は広報やホームページ等を通じ実施していく。	クリーンセンター
	32	石けん利用の推進 石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化や地球温暖化など環境改善につなげる。	●保育園などでの啓発 ①【日程】7月1日【場所】根戸保育園【参加者数】136人 ②【日程】7月8日【場所】つくし野保育園【参加者数】190人 ③【日程】8月2日【場所】わくわく広場【参加者数】31人 ④【日程】8月22日【場所】にこにこ広場【参加者数】33人 ●せっけん学習会 ≪手賀沼流域フォーラム≫ 【日程】7月22日【場所】アピスタ【参加者数】47人 ●イベント参加 ≪ボランティアメッセ≫ 【日程】4月8日【場所】こもれび【参加者数】14人 ≪ママへのごほうびフェスタ≫ 【日程】9月2日【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店【参加者数】172人 ≪福祉ふれあいプラザ 福祉機器展≫ 【日程】11月11日【場所】けやきプラザ【参加者数】26人 ≪子育てフェスタ≫ 【日程】3月17日【場所】あびこショッピングプラザ【参加者数】144人 ◆◆指標と実績◆◆ 【来場者数】 793人(参加者数不明の産業まつりを除く)	A. 成果・効果があった 親子向けの講座など、概ね好評であった。 我孫子市石けん利用推進協議会委員の高齢化。	A. 現状どおり推進		商業観光課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	33	小学校『歯磨き・食育指導』事業	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話と歯磨き実習を実施。 【実施回数】114回 【場所】市内小学校13校 【参加者】3,422人 ・臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で必要とする児童に対し、歯磨き指導を実施。 【実施回数】3回 【場所】市内各小学校 【参加者】235人 ◇◆指標と実績◆◇ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 13校	A. 成果・効果があった 昨年度に引き続き、各校で給食後の歯磨きに取り組んでいる。	A. 現状どおり推進 なし	なし。	学校教育課
		乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	なし	なし	なし		
	34	生涯学習推進計画事業実施状況調査 市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の平成28年度実施状況の具体的内容や成果・課題、また、平成29年度の実施予定内容など関連事業の調査を行う。 事業の廃止や見直しがある場合には、その理由や代替事業の有無についても確認する。 ●平成28年度実施状況 実施計画(後期)に位置付けた139事業を実施計画事業として進行管理を進めた。 【休止事業】 「廃棄物に関する教育啓発事業」(クリーンセンター) 【隔年事業】 「子ども議会」(指導課)、「高齢者虐待防止講演会」(高齢者支援課) ●平成29年度の実施予定内容 平成28年度は、概ね27年度事業を継続して実施する。また廃止事業・休止事業・統合事業が3事業あり、平成28年度は、164事業を実施した。 【廃止事業】 ・「まちづくり探検隊」(子ども支援課) 【休止事業】 ・「廃棄物に関する教育啓発事業」 【統合事業】 ・「スポーツ教室事業」 ◇◆指標と実績◆◇ なし	A. 成果・効果があった 実施状況調査をもとに、事業の成果や各課が抱える問題を把握することができた。	A. 現状どおり推進 第三次生涯学習推進計画の実施期間中であるため、今後も進行管理や調整に活かすため調査を続けていく。	なし	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、 相談できるまちづくり	35	生涯学習推進本部の運営	<p>●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図った。</p> <p>＜第1回＞ 【日程】5月18日 【場所】議会棟 第一委員会室 【内容】 (1)生涯学習推進本部の趣旨・役割について (2)第三次生涯学習推進計画(概要版)について (3)我孫子市第三次生涯学習推進計画 前期実施計画(案)について ⇒承認</p> <p>＜第2回＞ 【日程】11月29日 【場所】議会棟 第一委員会室 【内容】 (1)生涯学習推進計画実施計画実施状況調査について 6月に第二次生涯学習推進計画に基づく事業進行管理のため実施状況調査をし、平成27年度実施事業内容、平成28年度実施予定事業の把握を行った結果を報告した。</p> <p>●幹事会会議 推進本部会議を円滑に運営するため、7月に実施した第1回生涯学習審議会での意見等を踏まえ、各課で行われている生涯学習関連事業の課題やその対策について庁内連携で対応できないかなどを中心に会議を実施した。 【日程】10月12日 【場所】我孫子市役所分館小会議室 【出席者】企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課佐、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、農政課、道路課、都市計画課、水道局経営課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館 【内容】 (1)生涯学習推進本部幹事会の役割について (2)生涯学習推進計画について (3)生涯学習推進計画実施計画実施状況調査表～平成27年度実施状況と平成28年度実施計画事業～について (4)生涯学習事業の27年度実施状況についての課題と解決・対応策、地域課題解決の担い手づくりについての各課の実施状況や今後の予定について</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【推進本部会議開催数】 1回 【幹事会開催数】 1回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を行って行く中で、各課が抱える問題に対して連携等を行うことで問題解決できないか等、意見交換が活発に行われた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も生涯学習推進のため、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図っていく。</p>	なし	生涯学習課
		生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。					

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
36	健康スポーツ普及事業	<p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内6つのクラブにおいて、ベタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや「市民のチカラ」において総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストレーションを行う。 <p>●体育協会の委託事業 《市民体育大会》 【開催日】 《チャレンジスポーツフェスタ》 【開催日】10月7日 《新春マラソン大会》 【開催日】1月28日 《大人のスポーツテスト》 【開催日】11月19日</p> <p>◇◆指標と実績◇◇ 《総合型地域スポーツクラブ》 【会員数】491人</p> <p>●イベント参加者数 《市民体育大会》【参加者】4,102人 《チャレンジスポーツフェスタ》【参加者】2,125人(延べ人数) 《新春マラソン大会》【参加者】1,721人 《大人のスポーツテスト》【参加者】98人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>スポーツイベントを通して市民の健康増進に寄与している。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	なし	文化・スポーツ課
	市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、スポーツ指導者資格研修制度導入を研究する。	なし	なし	なし		
37	読書普及活動	<p>出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なった。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。</p> <p>・出前講座 「子どもと読書」(随時)「大人が楽しむおはなし会」(随時)「図書館の上手な使い方・楽しみ方」(随時) ・職員派遣(随時) ・離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回) ・出張おはなし会(随時)</p> <p>◇◆指標と実績◇◇ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの参加者数(年間)】 1,077人(前年度 1,013人)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民が集う施設へ赴き、読み聞かせ等を行うことにより、多くの市民の読書への関心が高まった。特に、出前講座「大人が楽しむおはなし会」は毎年依頼があり、市民の読書活動への意欲がうかがえる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民の読書への関心を高め、図書館利用を促進するために必要不可欠な事業であるため、今後も引き続き推進していく。</p>	なし	図書館
	依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことによって、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	図書館市民スタッフ(読書普及担当)と協働し、読み聞かせや読書案内の内容等を充実させる必要がある。				

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、 相談できるまちづくり	38	図書館PR 図書館利用促進のためのPRや 情報提供を行い、多くの市民に 図書館サービスを周知する。	図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。 「我孫子市の図書館」「たんだ新聞」等の刊行物を発行した。 ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページの年間アクセス数】1,167,198件(前年度 700,040件)	A. 成果・効果があった 図書館資料の予約受付総数のうち、 71.2%がホームページからのオンライン 予約であり、インターネットサービスに対 する利用者のニーズの高さが確認され た。 ホームページの作成、「たんだ新聞」等刊 行物の企画・編集・印刷等には、作業時 間の確保が必要である。	A. 現状どおり推進 図書館の情報提供及びPR において、ホームページは 有効な手段なので、新規利 用カード登録者に対する ホームページの利用を促 進するとともに、利便性の 高いホームページとなるよ う努めながら、今後も引き 続き推進していく。	なし	図書館
	39	鳥博セミナー・イベント等の 教育普及活動 鳥類や自然科学への理解を深 めることを目的に専門家を呼ん で講演会を実施する。また、工 作を楽しむ機会や、観察や体験 の機会を提供するため、身近な 材料でできる工作や、観察、体 験を中心に実施する。	●講演・講座 《鳥学講座》 【日程】11月4日(土)【参加者】115人 《ゲストトーク》 【日程】11月5日(日)【参加者】49人 《鳥博セミナー》 【日程】2月下旬【参加者】38人 ●フロアスタッフイベント 【内容・日程】 《飛べ！鳥の紙ひこうき》 【日程】5月4日(木・祝)【参加者】30人 《鳥風教室》 【日程】5月5日(金・祝)【参加者】17人 《和紙で鳥の羽をつくろう》 【日程】5月14日(日)【参加者】172人 《夏の遊びと研究大集合！》(8月5日から27日までの毎週土・日曜日と祝日) 【日程】 8月5日(土)「最強の動物「クマムシ」を探せ！」【参加者】34人 8月6日(日)「フクロウホバークラフト」【参加者】63人 8月11日(金・祝)「メダカでアクアリウム」【参加者】64人 8月12日(土)「フーファーカモ笛」【参加者】52人 8月13日(日)「しらべてみよう！フクロウのごはん」【参加者】26人 8月19日(土)「フクロウホバークラフト」【参加者】30人 8月20日(日)「ゴーストミズク」【参加者】46人 8月26日(土)「フーファーカモ笛」【参加者】18人 8月27日(日)「くるくる鳥コプター」【参加者】61人 《鳥風教室》1月8日(月・祝)【参加者】32人 ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者数(定員に対する割合の平均)】 《講演・講座》202人(92%) 《フロアスタッフイベント》645人(109%)	A. 成果・効果があった 各講座では、鳥に関する興味深い話を各 分野の専門家から直接聞く機会を設ける ことができ、市外からの来館者も多く訪れ た。また、イベントでは、特に小学生と保 護者による参加が多数あり、若い世代の 市民に鳥の博物館の存在をPRすること ができた。 なし	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり			基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		
①地域への関心を高める学びの機会の推進		①地域への関心を高める学びの機会の推進			①地域への関心を高める学びの機会の推進		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	40 まちづくり探検隊 子どもたちがまちづくりについて意見を述べる機会と場をつくる。子どもたちの暮らしや環境をもっと良くしていくため、子どもたちががんばってできることや、大人に手助けして欲しいことを考える機会を提供する。	平成28年度をもって事業廃止。 ◇◆指標と実績◆◇					子ども支援課
	41 子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ） 放課後に子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	【活動内容】 フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】 あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】 月～金曜日：下校時から午後5時まで 土曜日：午前10時から午後5時まで（布佐南小あびっ子クラブのみ7月以降の土曜日閉室） 学校の振替休業日：午前9時から午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時から午後5時まで（ただし土曜日は午前10時～午後5時） ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始は実施しません。 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等 ◇◆指標と実績◆◇ 【チャレンジタイム総実施回数】1,455回（全12クラブ合計）	A. 成果・効果があった 共働きなどによる家庭環境の変化によりあびっ子クラブを利用する子どもが増えているが、新たにあびっ子クラブを開設したことで、放課後により多くの子どもたちが安心・安全に過ごすことができ、また地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育むことができた。 スタッフの年齢層の高齢化が進み、長期休暇等を含めあびっ子クラブを運営するスタッフの確保が難しくなっている。また、加配児童等に対する保育の質向上が必要になってきたことから現スタッフに対するマネジメントをしっかりと行っていく必要がある。新スタッフ確保の際には、心身ともに健全である方、保育の質向上の意欲を持つ方を確保する必要がある。	A. 現状どおり推進 地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加してもらえるようPRをしていく。また、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かしていく。 平成30年9月布佐小あびっ子クラブ開設に向けて準備を行うと同時に、全小学校にあびっ子クラブが開設される30年度を一区切りし、登録料や運営方法等を改めて見直ししていく。	平成30年9月1日より布佐小あびっ子クラブ開設。	子ども支援課	

	N O	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 ①地域への関心を高める学びの機会の推進 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	42	谷津ミュージアムづくり推進事業 手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	●谷津の自然観察会 【日程】 5月13日(土) 雨のため中止 7月17日(祝) 参加人数:34人 7月30日(日) 参加人数:40人 2月17日(土) 参加人数:7人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ●谷津学校 《15期生》 【日程】4月~3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】6人 ◇◆指標と実績◆◇ ●谷津の自然観察会 3回合計参加者 81人(5月13日(土)を除く) ●谷津学校 受講者合計 6人	A. 成果・効果があった 事業を実施したことにより、貴重な谷津の自然を認識いただいたとともに、谷津に興味を持ち、保全していくボランティアについて理解が得られた。 現在、活動をされているボランティアの高齢化が進んでいるため、会員募集の拡大および活動への参加の呼びかけを強化しなければならない。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課
	43	手賀沼船上学習の実施 小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や地球温暖化問題・生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、鳥などの生き物や手賀沼を身近に感じ、我孫子市の環境施策を推進する。	《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 【日程】①7月25日(火) ②8月2日(水) 【場所】水の館 研修室 【対象】小学生12人(3年生以下保護者同伴) 《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花びらなど～》 【日程】7月27日(木)・8月3日(木) 【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《船から見る手賀沼のふしぎ》 【日程】7月26日(水) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《カヌー体験学習》 【日程】7月30日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生50人 ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 73人	A. 成果・効果があった どの事業も早くから定員になるほど申込が相次いでおり、夏休みのイベントとしての需要は高い。参加した子供達だけでなく親の反応も良かった 定員になってしまった後は全て断っているが、ひとまず申し込んでおいて当日キャンセル、という参加者もいるため、当日空きができてしまうのが課題となっている。	B. 改善・見直しを行う	なし	手賀沼課
	44	手賀沼流域フォーラムの開催 市民団体が中心となって水質浄化活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。 ●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催する。 【日時】10月22日(日) 【場所】アビスタホール ◇◆指標と実績◆◇ 【総参加者数】 75人	A. 成果・効果があった 柏7企画、流山2企画、松戸2企画、鎌ヶ谷2企画、白井2企画、印西3企画の中で、我孫子は15企画と最も多く、また参加者についても環境レンジャーが関わった6/3,4のオープニングイベントや10/15のエコ・こども教室の参加者が多く、1000名を超えるほどであった。全企画の参加者としては昨年度より多くなっていた。また、今年度はナガエツルノゲイトウに次ぐ特定外来水植物オオバナミズキンバイが確認されたことにより、講演会なども行い、啓発活動に努めた。 なし	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 ①地域への関心を高める学びの推進 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	45	<p>ジャパンバードフェスティバル</p> <p>自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした芸術的・文化的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や手賀沼などの自然環境保全の情報の受発信を推進する。</p>	<p>水の館の改修が終わり、多目的広場も整備されたため、関係機関と協力し様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行う。</p> <p>【開催日】 11月4日(土)、5日(日)</p> <p>【開催場所】 アピスタ、水の館、手賀沼親水広場等7会場</p> <p>【事業内容】 ジャパンバードフェスティバル(JBF)は、国内最大級の鳥の祭典。各会場では、鳥のお絵かきやミニ工作、双眼鏡やスコープ・超望遠撮影などの体験、手賀沼湖畔・船上バードウォッチング、抽選によるプレゼントつきスタンプラリー、バードカービング作品展、野鳥関連グッズの販売、自然や野鳥保護団体の展示に軽食コーナーなど、日本各地からの様々な出展(店)に加え、タイやネパールなど8か国が参加し自国の自然や野鳥などの紹介展示を行う。また、「全日本鳥フォトコンテスト」の作品を一堂に集めた作品展や、小・中学生、高校生が日頃の自然観察や研究の成果を発表する「環境学会」、鳥に関する学術的な講演会を開催。手賀沼親水広場ステージでは、鳥の絵を描く鳥絵ライブや歌・演奏のほか、鳥の声を当てるクイズなど盛りだくさんのイベント。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【参加者】 約40,000人(開催2日間延べ人数)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>前年同様40,000人が来場し、非常に盛り上がった。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館・手賀沼課・商業観光課
	46	<p>地区計画制度の活用</p> <p>市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。</p>	<p>地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。</p> <p>●パンフレット 【配布場所】 市役所都市計画課 【配布部数】 部 (集計不可のため部数未記入です。申し訳ありません。9地区の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて窓口対応時に配布しています。)</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページ閲覧数】1265件 【地区計画の区域内における行為の届出件数】63件</p> <p>なし</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>常に情報を更新し、正確に情報を提供する。</p>	なし	都市計画課
	47	<p>我孫子産米・我孫子産野菜の学校給食導入事業</p> <p>我孫子産米や我孫子産野菜を取り入れた学校給食を通じて我孫子市の農業への興味関心を持ってもらうとともに、栄養バランスの優れた「日本型食生活」の定着を図る。</p>	<p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度は87.6%であった。 我孫子産野菜を月平均3.1回使用し、品数は4.1品目、使用割合は6.0%であった。</p> <p>●米飯給食 米飯給食回数4.1回/週実施した。</p> <p>●和食の実施 平均63.4%の実施率であった。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【5月実施のアンケート結果】</p> <p>●我孫子産米の認知度 《小学校》 83.7% 《中学校》 93.6%</p> <p>●我孫子産野菜の認知度 《小学校》 85.2% 《中学校》 94.9%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度が微増した。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯、和食給食を推進し、児童生徒に和食文化や日本型食生活の良さを体験を通して伝えることができた。</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度の認知度とともに、食に関する選択力、自己管理能力を高めた。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していることの具体的な評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。</p>	なし	学校教育課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	48	市民カレッジ 我孫子を知るコース 我孫子の歴史や我孫子と関わった文人たちの足跡を講義と史跡めぐりを交えて学び、郷土愛と市民意識の向上を図り、家族や地域へ伝承する機会とする。また、仲間づくりや生涯学習のきっかけづくり、我孫子市政や市民活動の現状などをテーマに取り入れ、市民活動の動機付けとする。	【開催場所】 我孫子地区公民館 【日程】 5月から12月の間で全12回コース 【募集人数】36人 ※応募が15名未満の場合は、講座は実施しない。 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」、「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」、「我孫子市の課題」、「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【受講者数】 39人 一人でも多くの受講者が、学習成果を日常生活で生かせるきっかけ作りをする。	A. 成果・効果があった 全12回の学習を通し、我孫子についての知識を深めると共に、今後の我孫子市と自身についてを考える良い機会になった受講者が多くいた。講座終了後には、自主的な活動を続ける継続学級も発生した。 なし	C. 廃止・休止 平成19年度に運営委託を始めてから、10年が経過し、講座の目的である郷土愛の醸成や地域活動参画へのきっかけづくりについては、受講者アンケート結果からも我孫子への愛着や地域課題への興味をもっていただくことができ、啓発効果は十分達成したと考え講座を廃止した。 代替事業はないが、地域活動への参画については、長寿大学等の別学級で強化していく。		生涯学習課
	49	市史調査研究 我孫子市内に残る古文書の解読や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査。専門に従事する3号嘱託職員を採用し、読解とデータ作成をおこない、資料目録を刊行する。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。 ◇◆指標と実績◆◇ なし	A. 成果・効果があった ●資料調査 平成28年度から整理をおこなっていた旧井上家の資料をデータ化し、『旧井上家資料目録』全3巻を刊行した。 ●和紙公図の保存修復 和紙公図99枚を修復し、データ化した。 なし	A. 現状どおり推進 データ化した資料を活用できるように広報をおこなう。	なし	文化・スポーツ課
	50	郷土芸能への支援 郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民族芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施する予定。 【日程】平成29年12月3日(日) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】あひこふるさと会、古戸はやし連中、ひよっこ睦、我孫子第4小学校伝統芸能クラブ、湖北小学校伝統芸能クラブ、布佐小学校伝統芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】 366人	A. 成果・効果があった 継承団体と、子どもたちが一緒になって、発表する機会を提供しました。このことは、活動意欲の向上に繋がるものです。 後継者の育成が課題です。	A. 現状どおり推進 後継者の育成の機会となるよう、今後も継続的に実施する。	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	51	文化財の指定調査と保存支援 指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者の同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【市指定文化財数】 15 件	A. 成果・効果があった 文化財保護補助金を活用し、指定文化財中里薬師堂 十二神将像の内三体の修復をおこなった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課
	52	埋蔵文化財発掘調査 市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	平成29年度発掘調査実施件数 【市内遺跡発掘調査】21件 【不特定遺跡発掘調査】2件 【公共事業発掘調査】2件 【民間開発発掘調査】1件 ◇◆指標と実績◆◇ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった 例年よりも案件が多い中で円滑に調査を実施できた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課
	53	考古遺物整理 埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物を整理して記録保存した内容を、発掘調査報告書として刊行して公開し、市政や教育に活用する。	・「下ヶ戸貝塚」の5分冊目の刊行事業をおこなった。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は29年度市内遺跡補助を受けて刊行した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【一年間の報告書刊行冊数】2冊	A. 成果・効果があった 下ヶ戸貝塚については報告書刊行5か年目にあっており、貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。 なし	A. 現状どおり推進 2冊程度の発掘調査報告書の刊行を予定している。	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進	54	あびこ自然観察隊	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 ≪第1回≫6月18日「河原の鳥を観察しよう」【参加者】11人 ≪第2回≫7月25日「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」【参加者】12人 ≪第3回≫8月2日「」【参加者】16人 ≪第4回≫11月23日「晩秋の手賀川観察会」※雨天中止 ≪第5回≫2月11日「オーイ！冬鳥くん」【参加者】49人 ≪第6回≫3月21日「春の谷津田観察会」※雨天中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】4回 【平均参加者数/回】 指標：15人 実績：22人	A. 成果・効果があった 市内を代表する自然環境を適切な季節に多くの市民に紹介することができた。	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
		環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	なし				
	55	てがたん（手賀沼の自然観察会）	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 【日程・内容】 毎月第2土曜日午前10時から正午まで ≪第1回≫4月8日 今だけ！春限定の自然観察※雨天中止 ≪第2回≫5月13日 鳥の子育て※雨天中止 ≪第3回≫6月10日 生きもののかたちとデザイン【参加者】30人 ≪第4回≫7月8日 歩道で生きるガッツな植物【参加者】19人 ≪第5回≫8月12日 ヨン原と沼のトンボ【参加者】19人 ≪第6回≫9月9日 昔はいなかった生きものたち【参加者】26人 ≪第7回≫10月14日 ヒヨドリの渡り【参加者】8人 ≪第8回≫11月11日 白樺派の見た我孫子の自然【参加者】24人 ≪第9回≫12月9日 地衣散歩(ちいさんぽ)【参加者】21人 ≪第10回≫1月13日 もっと知りたいカモのこと【参加者】39人 ≪第11回≫2月10日 シジュウカラと愉快的仲間たち【参加者】40人 ≪第12回≫3月10日 冬芽と樹皮【参加者】23人 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】10回 【平均参加者数/回】 指標：22人 実績：25人	A. 成果・効果があった 身近な鳥や自然について、定期的に、季節に応じた体験を通じて紹介することができた。	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
		環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心を持ち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	なし				

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点			
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供								
基本目標2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	56	子どもNPOボランティア体験 子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】場所・時期: 受入団体により異なる。(イベント、通常の活動等) 【対象】小学生から大学生 【体験者数】小学生98名、中学生44名、高校生45名、大学生12名、その他1名 ●情報紙 【タイトル】JOYボラ 【発行回数】年2回発行・・・夏休み前(7月頃)、冬休み前(11月頃) 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など ◇◆指標と実績◇◆ 【体験受入れ団体数】40団体 【体験者総数】200名	A. 成果・効果があった 延べ200名の体験者があり、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会が提供できた。 なし	A. 現状どおり推進	なし	子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	市民活動支援課
	57	後期離乳食教室 乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることへの理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 なお、本教室で試食には「あびこん」で購入する我孫子市産農作物を使用する。 【平成29年度参加者数】269組 ◇◆指標と実績◇◆ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】98.2%	A. 成果・効果があった 離乳期後半から幼児期に向けての食事のバランス、生活リズム、歯の手入れ等について健康教育を行い、正しい食習慣への理解を促すとともに、個別相談の強化を図ったことで保護者の不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課	
	58	しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施【開催回数】12回 【場所】保健センター【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【委託】千葉県助産師会 【開催回数】36回 【参加者】妊婦145人(実)、370人(延) 夫、家族131人(実)293人(延) ◇◆指標と実績◇◆ 【学級後のアンケート結果】 «「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合»99.2%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が99.2%となっている。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課	
59	離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通じて、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 【平成29年度参加者数】296組 ◇◆指標と実績◇◆ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】99.5%	A. 成果・効果があった 離乳食の進め方や離乳食を食べる様子を映像で紹介したり、大人の食事からの取り分け食の実際の様子の実演及び試食を通じて確認することにより、離乳食作りの具体的なイメージがわき、不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課		

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	60	手賀の丘ふれあい宿泊通学	<p>【日程】 <<第1回>>7月5日(水)から7月7日(金) 2泊3日 <<第2回>>9月6日(水)から9月8日(金) 2泊3日 <<第3回>>10月25日(水)から10月27日(金) 2泊3日 【場所】千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】市内13小学校5~6年生 【募集人数】第1回~第3回 各回32人 ◇◆指標と実績◆◆ 【参加者】 第1回 32名 第2回 31名 第3回 19名 【全参加者数】 82人 【参加者アンケート】 ・川村学園女子大学の文学部心理学助教に協力を得、子どもの心理学に基づいたアンケートを実施。 児童の心の成長に繋がる結果を得た。</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加した児童からは、野外炊飯で学んだスキルを喜ぶ声や、新しい友だちをつくる楽しさを学んだ意見が多く見受けられた。また、保護者からは有意義な時間の提供に対する感謝のコメントや、普段の自分の子どもとの接し方を考えさせられる良い機会となったとの意見が多かった。川村学園女子大学との協定を結んでの実施もスムーズにしている。</p> <p>市内小学校の行事との兼ね合いによる開催時期の難しさにより、対象児童が学校行事と重なることにより参加がしなくてもできない状況が浮上。また、スタッフの人員確保など、前年に続き課題となっている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 共催である教育委員会・指導課との協議の上、課題を克服する内容で30年度は新たに事業をリニューアルし取り組んでいく事となった。詳細は【平成30年度実施内容】を参照。</p>	<p>前年度の『手賀の丘ふれあい宿泊通学』の課題を解消するために、良い部分は活かしながら、新たに『手賀の丘フレンドシップツアー』としてリニューアル。 学校との行事がかぶらないよう、教育委員会と打合せしながら実施時期を決定。1回の参加人数を増やし、年に2回、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて1泊2日、手賀の丘少年自然の家に宿泊する。 自分たちの事は自分たちでやる事で、自立性・協調性を育むことを目的とすること、川村学園女子大学の生徒にスタッフとして協力してもらうこと、また、心理学の先生による生徒のアンケートなど、事業の目的や円滑に進んでいる内容は継続していく。</p>	子ども支援課
		あびこ子どもまつり	<p>●第23回あびこ子どもまつり 【日程】10月15日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施 【内容】 子どもまつり実行委員会と我孫子市の共催事業でアビスタ・手賀沼公園を会場とし、子ども達が主体となるおまつり。また、子ども達は様々なお仕事を楽しみながら体験し、アビーというおまつり内で使用できる通貨をもらい、活用し楽しむ。 ◇◆指標と実績◆◆ 【参加者】695人(有料入場者数)</p>	<p>A. 成果・効果があった 23回目を迎え、企画・実行委員会メンバーもスムーズに運営ができるようになってきている。 市内だけでなく、近隣市から遊びに来てくれる家族連れなども増え、周知されてきている。</p> <p>天候によって来場者数が大きく左右される。また、年々参加団体が増えていることは喜ばしいが、雨の場合、屋内に入りきらない団体が出てきてしまう。 企画会の主要メンバーの入替も課題となってきた。</p>	<p>A. 現状どおり推進 おまつり自体がマンネリ化しないように、実行委員会から企画会へ入ってくれる方を募集していく。 長年培われてきたスキルや団体間の交流を大事にしながら継続していく。</p>	6月30日より実行委員会スタート。	子ども支援課
		げんきフェスタ	<p>●第22回げんきフェスタ 【日程】6月25日(日) 【場所】湖北地区公民館及びその周辺 【内容】子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行う。 ◇◆指標と実績◆◆ 【参加者】617人(有料入場者数)</p>	<p>A. 成果・効果があった 毎年、市東部の子どもたちを対象に開催し、多くの家族連れや子どもたちでにぎわっている。 22回目を迎え、おまつり自体も周知されてきており、参加者も多くなっている。</p> <p>参加費の他におまつりに来た子どもたちからお金をもらう有料企画の団体や、おまつりの各団体の予算内で無料で提供する団体など、団体間の考え方の違いが生じてきている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 今後も企画・実行委員会でもよく話し合い、おまつり自体がマンネリ化しないように協力していく。また、実行委員会から企画会へ入ってくれる方を募集していく。 長年培われてきた団体のスキルや交流を大事にしながら継続していく。</p>	ゲスト企画をフェスタの目玉として、外部から大道芸人を呼んだりしていたが、今年は川村学園女子大学や近隣大学のマジックサークルの方などに出演を依頼している。	子ども支援課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの提供 2 子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	63	enjoyパパ応援プロジェクト 子育て支援・若者支援プロジェクトの意向を受けて、男性の育児に対する意識向上、知識や技術の習得を目指し、育児講座や講演会等を実施する。	【対象】 就学前の子どもと父親 ●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・6月4日(日) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&なでしこ〜フットサル〜」53組 109人 ・10月28日(土) NECラグビー場「ラグビー教室」76人 ・12月16日(土)あびこ市民プラザ「たんさいぼう」29人 ・平成29年1月20日(土) アビスタ調理室「簡単クッキング!!」12人 ●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 ◀にこにこ広場「パパとあそぼう」毎月1回 ◀すくすく広場「すくすくパパタイム」原則毎週土曜日 ◀わくわく広場「わくわくファミリー」毎月1回 ◀すこやか広場「みんなで遊ぼう!」6月・11月・1月 ◇◆指標と実績◆◇ 【父親のイベント等への延べ参加者数】 1056人	A. 成果・効果があった 父親が子どもと過ごす場を提供することで、父親の意識向上につながっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし		保育課
	64	子育て支援施設における講習 子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。 ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回~2回(年間23回) 【場所】にこにこ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 ●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催) 【日程】年2回 【場所】にこにこ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】6月29日、8月24日、9月28日、10月5日、10月12日、3月8日 【場所】にこにこ広場・すくすく広場 年各2回 わくわく広場・すこやか広場 年1各回計6回 ●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程・場所】各広場年3回~4回(年間15回) ◇◆指標と実績◆◇ 【利用者数】 13372 人	A. 成果・効果があった 育児に関する情報を得ると共に、疑問や質問などを保護者が直接専門職に聞くことが出来、悩み事が解消できる場となっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし		保育課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	65	子ども議会 次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にする。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	隔年開催のため、今年度は実施せず。ただし、来年度実施に向けての準備会を実施した。 また、今年度より子ども議会を開催しないときは、中学生と教育委員との懇談会を実施。各中学校2年生男女1名ずつ計12名が参加。 ◇◆指標と実績◆◇ 子ども議員が質問する人数 目標 38人 実績38人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	・時間設定等、多少の変更はあるが、それ以外に特に大きな変更はない。	指導課
	66	長寿大学 高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくりに積極的に参加できるようにする。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、平成29年4月から平成30年3月まで年間24回の学習プログラムで実施した。 ・運営委員会、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動した。 【参加者】 ≪1年生≫47人(H30年2月16日現在) ≪2年生≫46人 ≪3年生≫45人 ≪4年生≫45人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 183人	A. 成果・効果があった 卒業生及び在校生が、地域活動・まちづくり活動に参加する動機づけとなった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	・目的を「高齢者の生活を充実させ、人間関係を深め、地域の課題や社会の変化に適應できる能力を修得し、地域活動・まちづくりに主体的に参加しようとする人材を育成する。」に変更した。 ・カリキュラムの見直しを行い、市民活動に関する分野の学習を各学年1コマ増やした。	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの ことができるまちづくり	67	成人式 大人になったことの自覚を促し、 自ら生き抜こうとする青年を祝い 励ます式典を行う。	<p>【日程】平成30年1月7日(日)</p> <p>【場所】けやきプラザ ふれあいホール</p> <p>【対象者及び人数】 平成9年(1997)4月2日から平成10年(1998)4月1日に出生した市内在住者：平成29年4月17日現在1,287人 ≪午前の部≫我孫子・湖北・湖北台中学校区 ≪午後の部≫白山・久寺家・布佐中学校区</p> <p>【式典企画】 ・恩師からのビデオメッセージと懐かしい小中学校時代の写真を綴った「思い出のアルバム」 ・集合写真 ・新成人寄せ書きパネル</p> <p>【記念品】 万年筆 ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全7回の企画運営会議を実施予定。 ≪第1回≫5月21日 成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換 ≪第2回≫6月24日 記念品について、12月リハについて、式典企画について、役割分担について ≪第3回≫7月16日 式典企画「思い出のアルバム」について、ビデオ編集カウンターについて、写真の選定 ≪第4回≫8月14日 式典台本について、式典企画について ≪第5回≫9月23日 式典台本について、記念品について、式典企画について ≪第6回≫10月15日 記念品について、集合写真について、新成人の意思表示など未来に向けての企画について ≪第7回≫11月25日 式次第について、意思表示の寄せ書きのパネルについて、成人式リハーサルについて</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】931人(出席率72.28%) ≪午前の部≫502人(出席率78.19%) ≪午後の部≫429人(出席率66.41%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>30年成人式では記念品を万年筆へ変更。また式典後に集合写真の撮影。新成人の寄せ書きパネルの設置を新たな取り組みとして取り入れた。記念品と集合写真も参加者から好評だった。</p> <p>初めての試みとして行った新成人の寄せ書きパネルに関しては、新成人代表を中心に準備をしてきたが、当日思うように活用されなかった。職員や新成人代表の声掛けには素直に応じてくれ記入してくれる方も多かったことから、パネル前に職員を1人配置するなどして対応していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>成人式企画運営会議では、これまでの成人式の様子はもちろん、近隣市の成人式の様子を積極的に情報共有していく。新成人代表が主体的かつ積極的に企画運営していける環境を準備していく。</p>	特になし	生涯学習課
	68	熟年備学 熟年世代が、これからの高齢社会をより良く生きるために、高齢社会の諸問題や対処方法を学び、人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、地域の高齢者を支えながら、自らもハツラツとした人生を送るためにどうしたら良いかを考える機会を提供する。	<p>【日程】5月から1月14回</p> <p>【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設</p> <p>【内容】主に定年退職を控えた方々を念頭に、人生の後半の生き方、過ごし方、地域活動への入り方、だまされないための暮らしと契約、終の棲家、心と体の健康維持、老前整理、遺言と相続、エンディング事情についての講義を行い、健康体操、高齢者施設の見学、介護のコツを学ぶ実習を行う。</p> <p>【定員】45人 【参加者数】54人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【アンケート結果】(学習終了時実施) ≪とても良かった≫26% ≪まあまあよかった≫10% ≪ふつう≫0% ≪あまりよくなかった≫0% ≪とてもよくなかった≫0%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>年間の学習終了時点のアンケートでは、受講内容について「とてもよかった」「まあまあよかった」が100%であった。西部防災センターの見学・健康生きがいアドバイザーによる「笑って長生き」の講座・遺言や相続等の専門的な学習のアンケート結果がとても好評だった。</p> <p>講義がメインの講座のため、受講生での話す場が少なく、仲間作りの機会が少なかった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>平成30年度より「学級生企画」の講座や閉鎖式には講師を招かず学級生で振り返り学習を行い、学級生同士のコミュニケーションの場を増やす。</p>	施設工事に伴い、講座の実施場所を一時変更する。	生涯学習課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	69	家庭教育学級 子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	<p>●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間で 年間14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・フラワーアレンジメント)、公開講演会も含め全14回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者55人</p> <p>●プチ家庭教育学級 【日程】2月に3回 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を対象 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内容で2月に3回シリーズで実施(読み聞かせ、調理実習、性教育) 【場所】湖北地区公民館 【参加者】3歳から小学校6年生の子どもを持つ保護者10人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 38人) 《大変満足》 32人 《大体満足》 6人 《「不満が残った」、「期待はずれだった」》 0人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>小学校入学に伴い、それまでの保育園や幼稚園時、親同士のかかわりが減る一方で、慣れない小学校生活に親も子も、悩みや不安を抱える事がある。家庭教育学級に参加し、「新しいことや色々なことを学べた」、「色々な方と交流がもてた」、「子供についての不安や心配事が話せた」などのことから、本学級の趣旨・目的を達成する事ができた。</p> <p>下の子ども(乳幼児)を連れての参加者が多く、託児の強化が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>施設の修繕により、前期(6回)・後期(6回)に分けて事業を実施する。 また、受講者募集時に工事の日程が不確定なことから、募集人数を50人から40人に減らします。</p>		生涯学習課
	70	のびのび親子学級 ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	<p>●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び五本松運動広場 【対象】平成25年4月2日から平成27年4月1日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】・アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組、・湖北火曜コース 親子20組</p> <p>●プチのびのび親子学級 【日程】2月6日・13日・27日 【場所】布佐小学校地域交流教室 【対象】2、3歳児と保護者 【人数】親子10組</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 66人) 《満足度100%》</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>年間を通して、班単位で行うミニレクリエーション、クッキングなど話し合いや共同作業が必要な学習により、子育てを通じた同じ価値観を持つ親同士、子育ての楽しさや苦勞を分かち合い、仲間と一緒に考え互いに支え合える仲間づくりができる場となった。学習終了後、引き続き学習を続けるための継続学級が立ち上がった。</p> <p>様々な方法で広報活動をしているが、当学級のこと、募集がかかっていることを知らない方がまだ多くいる。さらに丁寧PRしていく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>早い段階から対象児が集まる場所へ出向いてのPR、映像を使つてのPRが行えるよう準備していく。</p>	のびのび親子学級は、施設工事に伴い、5月から8月まで(前期6回)、9月から1月まで(後期6回)に分けて実施する。	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの提供	71	アビコでなんでも学び隊 小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を広げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	<p>●アビコでなんでも学び隊 【日程】6月から8月、10月から1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生</p> <p>《ROBOLABプログラミング教室 車型ロボットを作って動かそう》【定員】22人 《ROBOLABプログラミング教室 車型ロボットをコントロールして動かそう》【定員】22人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》【定員】24人 《伝統の美・友禅染 プロに学ぶ日本の技》【定員】24人 《生命の不思議発見！ーメダカを通してー》【定員】24人 《磁石とコイルのパワーを探れ》【定員】24人×2回 《My望遠鏡で月を見よう！》【定員】20人 《あらふしぎ？カガミを使わない万華鏡！》【定員】24人 《科学であそぼう！》【定員】24人 《卓球チャンピオンになろう！基本からゲームまで》【定員】20人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう・ゆかいなクラクション)》【定員】24人 《粉こねてピザをつくろう！(高校生とジョイント)》【定員】15人 《パンでクリスマスブーツをつくろう！》【定員】18人 《はじめての書初め》【定員】22人 《ダブルダッチに挑戦！》【定員】20人 ◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】(回答者 340人) 【講座に参加した子ども達の満足度】100%</p>	<p>A. 成果・効果があった 小学生の総数が減少する中、参加応募総数が前年の15%増だった28年度から、さらに4.7%増えた。子ども達の興味、関心の高さがうかがえる。また、小学6年生～中学3年生を対象に、ロボラボプログラミング教室の上級コースを開設したことにより、中学生から20件の応募があった。</p> <p>夏休み期間中の低学年対象の講座は、特に応募倍率が高い。対象講座を増やし、受講希望に応えられるように努める。</p>	<p>A. 現状どおり推進 おもに我孫子市民、団体、学校、企業に協力いただき、引き続き、子どもたちのニーズにあった講座を推進していく。</p>	低学年が参加できる講座を増やすため、高学年対象に2回実施してきた「磁石とコイルのパワーを探れ」は、低学年対象のプログラムを増やし、各1回実施。「あら不思議カガミを使わない万華鏡！」は、2回に増やして実施する。また、「あら不思議カガミを使わない万華鏡！」低学年を対象に1回実施していたものを2回に増やして実施する。	生涯学習課
	72	子どものための舞台鑑賞事業 子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞してもらうため、プロ劇団による演劇鑑賞会を開催する。ふだんはあまり実際の演劇など舞台芸術に親しむ機会を少ない子どもたちに鑑賞機会を与えることによって、豊かな感受性と芸術に対する意欲を醸成する。	<p>●子どものための舞台観賞 子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施する。 【日程】平成30年2月3日 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【内容】子供向けの舞台公演を開催</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】380人</p>	<p>A. 成果・効果があった 開催については、市内で子ども達のために活動している団体と実行委員会を組織して、子どものニーズや子どもに見てもらいたいという視点を取り入れ、開催することができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進 ふだんはあまり実際の演劇など舞台芸術に親しむ機会を少ない子どもたちに鑑賞機会を与えることによって、豊かな感受性と芸術に対する意欲を醸成する。</p>	なし	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
73	成人・青少年への図書館サービス 中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民の要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	<p>中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民の要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、講演会などの事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般書、逐次刊行物、ティンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施 <p>《講演会》 【テーマ】我孫子市民図書館布佐分館30周年記念講演会「イエと建物～井上家資料と建物をめぐって」 【日程・講師】7月1日(土)文化・スポーツ課職員 【場所】布佐分館第一会議室 【参加者】33人</p> <p>【テーマ】杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント第3回楚人冠講座「楚人冠のゴルフエッセイを読む」 【日程・講師】10月1日(日)杉村楚人冠記念館スタッフ、図書館市民スタッフ 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】24人</p> <p>【テーマ】バーナード・リーチ築窯100周年記念講演会「バーナード・リーチとセントアイヴス」 【日程・講師】12月17日(日)井坂浩一郎氏 【場所】アビスタホール 【参加者】96人</p> <p>【テーマ】バーナード・リーチ築窯100周年記念特講演会「リーチを追いかけてー『リーチ先生』創作のプロセサー」 【日程・講師】1月28日(日)原田マハ氏 【場所】アビスタホール 【参加者】140人</p> <p>【テーマ】杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント第4回楚人冠講座「楚人冠の紀行文で読む日本のあちこち」 【日程・講師】2月4日(日)杉村楚人冠記念館スタッフ 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】21人</p> <p>《ブックフィルムコーティング講習会》 【日程・場所・参加者】 10月25日(水)アビスタ本館 17人 10月26日(木)布佐分館 10人 10月27日(金)湖北台分館 5人 ◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 264,820人(昨年度比 93.3%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>単なる読書の要求だけでなく、生活に必要なことや趣味に関することを調べたいという要求に応え、生涯学習意欲の向上につながった。</p> <p>資料購入費の減少により新刊図書の購入冊数が限られるが、図書購入については全館調整を徹底して効果的に行う必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>成人・青少年のサービス対象者(13歳以上)は、図書館年間貸出利用者数の約90%を占めており、市民の学習機会を充実させるために必要な事業である。</p>	<p>《講演会》 【テーマ】「評価される維新の「志士」」 【日程・講師】7月8日(日)宮間純一氏 【場所】アビスタホール</p>	図書館	

基本目標 2 ②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供
生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
74	<p>②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供</p> <p>基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり</p> <p>子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。</p>	<p>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議</p> <p>●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 22回 492人 ②布佐分館 12回 84人</p> <p>●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 24回 198人 ②布佐分館 24回 144人</p> <p>●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 6回 45人 ②久寺家ステーション 6回 33人</p> <p>●子どものための科学実験講座 【日程】8月2日(水)①10時～12時 ②14時30分～16時30分 【場所・参加者】①布佐分館 35人 ②アビスタ本館 35人</p> <p>●よむよむラリー 【完了数】 375人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【児童書の年間貸出冊数】 223,474冊(昨年度比 94.3%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ・学校図書館支援センター機能の確立</p>	<p>・学校図書館支援センター機能の確立</p>	<p>図書館</p>

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	75	子どもの読書活動推進計画の策定 「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条の規定に基づく「子どもの読書活動推進計画」を策定することにより、子どもの読書活動推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、子どもの読書や学習活動につなげる。	「子どもの読書活動推進計画」の策定準備会議を課内で開催した。計画策定に向けて、市内小中高等学校等にアンケート調査を実施した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【策定準備の進捗率】100%	A. 成果・効果があった 計画策定に向けて、市内小中高等学校等にアンケート調査を実施し、我孫子市の読書環境について把握することができた。 策定事務に係る人員体制の確保が必要である。	A. 現状どおり推進 子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭・地域・図書館・学校図書館・保育園等における読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深めることは、子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長していくために重要であるため、今後も引き続き推進していく。30年度は、(庁内)策定委員会を開催し、年度末までに計画を策定する。	(庁内)策定委員会を開催し、平成30年度末までに計画を策定する。 教育委員会議、総合教育会議、生涯学習審議会、パブコメ等に諮り、意見を反映させる。	図書館
	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実			③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実			
	76	男女共同参画に関する施策や社会の潮流をテーマとした講演会を通して、男女共同参画に対する理解を深め、男女共同参画社会の実現を図る。	●男女共同参画月間講演会(主催) 【テーマ】ポストイクメン時代 男の生き方もハーフ&ハーフで 【日程】6月24日(土)午後1時～午後2時30分 【場所】アピスタホール 【講師】田中俊之さん(大正大学心理社会学部准教授) 【参加者】45人 ●男女共同参画社会づくり講演会(市民団体「あひこ女性会議」との共催) 【テーマ】自分に「いいね!」とらわれない生き方をめざして 【場所】10月21日(土)午後1時30分～午後3時30分 【場所】市民プラザ 【講師】柚木理子さん(川村学園女子大学元教授) 【参加者】50人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者アンケートによる満足度】 ●男女共同参画月間講演会(主催) 94%(有効回答数34人、75.6%) ●男女共同参画社会づくり講演会 91%(有効回答数34人、68.0%)	A. 成果・効果があった ●男女共同参画月間講演会 今まで課題となっていた男性の参加を促すため、ターゲットを絞ったテーマとした。その結果、初めて参加数で男性が女性を上回った。また、年齢層としても今まで60歳以上の参加が圧倒的であったが、今回は40、50歳代のいわゆる働き盛りの世代が過半数を占めた。 ●男女共同参画社会づくり講演会 当日参加の受け入れ方法を工夫し、当日参加者が参加者全体の26%となった。 会場定員に比べると申込者数が少ない傾向が続いている。講演内容やPR方法を工夫して認知度を高めていく必要がある。	A. 現状どおり推進 すでに事業として定着しているが、より小規模な講座や連続講習会等、開催形式のバリエーションや開催時期の変更についても検討していく。	講演会だけでなく会場での企画展示を拡大する。	秘書広報課

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
77	平和事業 今も世界の各地で起きている紛争の現実を知り、多くの市民が平和を大切にしたいを強くし、さまざまな平和への取り組みにつなげるため、市民や市民団体と連携しながら市民会議や広島への中学生派遣等の平和に関する各種事業を行い、戦争や原爆の悲惨さを次の世代に伝える。	<p>●平和事業推進市民会議【開催回数】5回開催【委員数】14名</p> <p>●中学生派遣【派遣先】広島【派遣期間】8月5日(土)から8月7日(月)まで【派遣人数】12名(中学校6校から、男女各1名ずつ)</p> <p>●平和祈念式典組み合わせ事業【日程】8月12日(土)【会場】手賀沼公園「平和の記念碑」前【内容】市民向けリレー講座の実施【参加者】約80人</p> <p>●派遣中学生による報告会(平和の集い)【開催日程】12月3日(日)【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール【内容】広島への派遣中学生による派遣報告、我孫子中学校演劇部による演劇「夏雲」の公演【参加者】派遣中学生12名(6校各2名)、我孫子中学校演劇部</p> <p>●リレー講座 【開催時期】平成29年6月～平成30年2月 【対象者】小学校全13校の6年生各クラス 【内 容】歴代の派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に平和への思いを伝え、平和について考える機会とする。グループワークで「平和のために今日から自分たちができること」を考え、葉っぱの形をしたメッセージカードに記入する。【参加者】小学校全13校の6年生(36クラス、1,182人)</p> <p>●被爆体験講話と市民向けリレー講座【日程】平成30年3月18日(日)【場所】アビイホール 【内容】我孫子市原爆被爆者の会会員と、柏和会(柏市原爆被爆者の会)の会員による被爆体験講話、市民向けリレー講座の実施【参加者】約50人 ◇◆指標と実績◆◇ 【派遣中学生報告会(平和の集い)への来場者数】約200人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>中学生派遣事業と派遣中学生によるリレー講座は、戦争や原爆を経験した方がますます減っていく今後の日本社会において、その悲惨さや平和の尊さを伝えていく新たな世代を育てる役割を果たした。</p> <p>リレー講座が始まって3年が経ち、講座の立ち上げメンバーが就職活動等で、参加が難しくなってきた。そのため、新たに高校生や大学1・2年生の参加を増やす必要がある。派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座等の活動に参加することに気後れしてしまう人もいられるため、いかに活動に参加しやすくするのか、工夫が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き市民や市民団体と連携して事業を進める。</p>		企画課	
	78	健康づくりに関する専門家によるセミナー 市民の自主的な健康づくりを目的に、運動、休養、口腔衛生、栄養等の生活習慣の話や、実践的な筋力アップ体操・ストレッチに関する情報を提供し、市民に正しい生活習慣についての理解を深め、現在の生活習慣を見直し、自分にあったアレンジを加え日常生活を改善してもらう。	<p>●骨粗しょう症セミナー 市民の方に関心をもってもらいたいためセミナーを実施。 【演題】骨を丈夫にして健康寿命を延ばそう 【日程】平成29年11月7日(木) 14時～15時45分 【場所】我孫子南近隣センターホール 【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民 【内容】アビコ外科整形形外科病院長 水江晋一医師を講師に、骨粗しょう症とは、予防方法などの講演を実施。 我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講話。「カルシウムについて」の講話とあびこ市民の歌健康体操(ロトレバージョン)の紹介。 【協賛】中外製薬(株) ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】83人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>アンケート調査の結果、健康意識が「とても高まった・高まった」と回答した割合が83.8%、講演会の内容について、「とてもよかった・よかった」と回答した割合が75.1%であり、ほぼ全員の方の健康意識の向上につながった。</p> <p>高齢者の参加が多く、もう少し若い世代にも興味をもってもらいたい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>若い世代の方にも興味を持ってもらえるように、内容やお子さんのお預かりなど検討が必要。</p>		なし

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	79	メンタルヘルス啓発講座 精神保健福祉に関心のある市民に、病気に対する正しい理解を深めてもらい、地域の支援者の増加を図る。年1回、3日間程度の講座を実施する。	依存症についての講演会を実施予定 【日程】平成30年2月25日(日) 【場所】あびこ南近隣センター9階ホール 【テーマ】依存症って何?～知ることは回復への近道～ ◆◆指標と実績◆◆ 【講演会参加者】0名	C. 未実施・わからない 今回急遽前日に講師からお断りの連絡が入り、代わりに講師の手配もできず講演会が中止となっている。そのため、成果、実績、課題に関しては、未記入とした。 上記と同じ。	A. 現状どおり推進	今回に関しては、講演会を実施していないため、改善点等未記入とした。 本年度は平成30年12月9日にひだクリニックの医師に講演を依頼済み。内容の詳細については未定。	障害福祉支援課
	80	失語症家族教室 失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料 ◆◆指標と実績◆◆ 【失語症家族教室への延べ参加者数】8人	A. 成果・効果があった 失語のある人のご家族を対象に、失語に関する悩みを軽減するとともに、失語の知識および会話技術の習得を図ることができた。 参加者数が少なかったため、広報活動を強化する必要がある。	A. 現状どおり推進 広報活動を強化し、現状どおり推進する。	特記事項なし。	障害福祉支援課（障害者福祉センター）
	81	手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、読話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「読話講習会」を開催する。初心者向けに、読話の基礎を学ぶ。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料 *情報補償として、要約筆記者を配置 ◆◆指標と実績◆◆ 【講習会参加実人数】17人	A. 成果・効果があった 障害者福祉センターは、交通の便が良くないため、送迎バスを運行した。今後も継続する必要がある。	A. 現状どおり推進 中途失調者・難聴者は、先天性の聴覚障害と異なり手話や読話を習得することは難しいため、継続して実施する必要がある。	読話講習会と手話講習会を交互に実施する計画であるため、平成30年度は手話講習会を実施する。	障害福祉支援課（障害者福祉センター）

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
82	家族介護教室 要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。	市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催する。 【テーマ、日程、場所、人数】 《我孫子地区》 ・「楽しく脳トレ・筋トレしてみませんか」6月23日 市民プラザ介護室 参加者17名 ・「今から始めよう生前整理」11月15日 我孫子南近隣センター9階ホール 参加者62名 ・「おくすりの話し」3月20日 市民プラザホール 参加者18名 《天王台地区》 ・「てんのうだい介護予防教室 近隣センターこもれび第1回 家庭医が話す在宅医療」6月28日 近隣センターこもれびホール 参加者30名 ・「てんのうだい介護予防教室 天王台北近隣センター第1回 認知症を防ぐ生活習慣ロコモティブシンドロームを防ごう」7月20日 天王台北近隣センターホール 参加者20名 ・「てんのうだい介護予防教室 近隣センターこもれび第2回 バランスウォーキング教室」8月25日 近隣センターこもれびホール 参加者30名 ・「てんのうだい介護予防教室 天王台北近隣センター第2回 知っておきたい認知症の知識」9月12日 天王台北近隣センターホール 参加者21名 ・「てんのうだい介護予防教室 近隣センターこもれび第3回 健康寿命を延ばす生活習慣と食事」10月20日 近隣センターこもれびホール 参加者20名 ・「てんのうだい介護予防教室 天王台北近隣センター第3回 バランスウォーキング教室」11月22日 天王台北近隣センターホール 参加者21名 ・「てんのうだい介護予防教室 近隣センターこもれび第4回 笑いヨガ 笑う門には福来たる」12月11日 近隣センターこもれびホール 参加者38名 ・「てんのうだい介護予防教室 近隣センターこもれび第5回 ロコモティブシンドロームを防ごう」2月20日 近隣センターこもれびホール 参加者31名 《湖北・湖北台地区》 ・第1回ほくほく介護教室 終活「物と心の整理術」5月23日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者67名 ・「転ばないための体操教室」7月6日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者41名 ・第2回ほくほく介護教室「認知症の話し」と「認知症の薬の話し」7月13日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者91名 ・第3回ほくほく介護教室「認知症の予防について～脳を元気にしよう～」9月12日 湖北地区公民館第一学習室 参加者34名 ・第4回ほくほく介護教室「ストレスの付き合い方」11月28日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者49名 ・第5回ほくほく介護教室「親の介護が始まる前に知っておきたい身体・気持ち・社会の知識」11月13日 湖北地区公民館第一学習室 参加者35名 ・第6回ほくほく介護教室「笑いヨガで心も身体も健康に」3月13日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者53名 《布佐・新木地区》 ・「介護予防教室(ウォーキング教室)」9月8日 布佐南近隣センター集會室 参加者33名 ・「今からできるお部屋の片づけ」3月26日 ふさの風近隣センター多目的ホール 参加者65名 《全地区共通》 ・ケアメン倶楽部(介護をしている男性介護者対象)「料理教室」8月24日 アピスタ調理室 参加者6名 ・ケアメン倶楽部(介護をしている男性介護者対象)「家族会」10月26日 南近隣センター第2会議室 参加者6名 ・ケアメン倶楽部(介護をしている男性介護者対象)「料理教室」12月21日 アピスタ調理室 参加者4名 ・ケアメン倶楽部(介護をしている男性介護者対象)「家族会」11月22日 南近隣センター第2会議室 参加者6名 ◇◆指標と実績◆◇ 【教室参加者】792 人	A. 成果・効果があった 多くの市民の方に対し、高齢者に関わる様々なテーマで情報の提供と家族介護への知識の習得に加え、調理実習等も行い、健康に生活するための知識習得を進めることができた。また、なんでも相談室の機能を周知することができた。	A. 現状どおり推進	変更点はなし	高齢者支援課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	83	認知症の方の家族のつどい	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】 偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業) 【場所】 けやきプラザ7階研修室又は1階工作室 【参加対象者】 認知症の症状のある方を介護している家族 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 【参加者数】 延60人 ◇◆指標と実績◇◆ 【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できた》 93.3% 《自由記載の一部抜粋》 ・自分だけではなく、皆さんのご苦労や状況を知る事ができて、勉強、参考になりました。 ・役に立つ情報を得られた。背中を押してもらったりしてありがたいです。	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が9割以上であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進 互いに交流を図れるように参加者を増やしていくため、認知症の方の介護者へのチラシ配布を行う。	変更点なし	高齢者支援課	
		健康生活月間講演会	《講演会》 【日程】平成29年11月29日(水) 【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール 【内容】効果的な脳の鍛え方(認知症に関する講演会) 【対象】市民 【定員】450人 【参加者数】430人 ◇◆指標と実績◇◆ 【講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』85.2% 【アンケートの自由記載での意見の抜粋】 ・とても勉強になりました。・分かりやすかった。 ・コグニサイズの実践が楽しかった。	A. 成果・効果があった 講演会参加者のうち、『わかりやすい』との回答が8割以上あり、介護予防に関する知識の普及啓発は行えた。	A. 現状どおり推進 ・会場の検討をしていく。 ・市民の興味を引く内容を検討していく。	共催で行ってきた千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター側の意向・話し合いにて、共催での開催は今年度までとなった。平成30年度からは共催のため無料借用できていたホールが有料となり会場変更を検討していく。		高齢者支援課
		高齢者虐待防止講演会	隔年実施のため29年度の実施はなし。 ◇◆指標と実績◇◆	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進 前回と同様に、市民の皆様が高齢者虐待に関する知識の普及につながる講演会を実施する。	隔年で実施している。平成30年度実施する。		
高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介し啓発を図る。	なし							

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	86	遊具うんどう教室 生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日 7回、延 127人 《天王台西公園》毎月第3金曜日 12回、延 146人 《布佐南公園》毎月第2水曜日 7回、延 39人 ※雨天の場合には、中止 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◆◇ 【遊具うんどう教室参加者合計数】延 312人	A. 成果・効果があった 本事業は、生活機能の低下による要介護状態を予防するため、介護予防に関する啓発を行っている。 高齢者の健康維持・向上及び参加者同士が交流することで閉じこもり予防に繋がっていることから、今後も引き続き継続していく。 屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3会場において、遊具うんどう教室を26回開催し、延312人が参加している。健康状態を維持・増進し、生活機能の低下により、要介護状態となることを予防するため、個人の年齢や体調に合わせた運動を実施し、介護予防・運動習慣等に関する知識の普及・啓発を図ってきた結果、介護予防や健康づくりへの意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられている。 また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっていることから、今後も高齢者が自ら介護予防に取り組めるよう、現状どおり推進していきます。	A. 現状どおり推進 利用者が安全に使用することのできる環境を整えていく。	変更点なし	高齢者支援課	
	87	環境学習の推進 小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や地球温暖化問題・生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、鳥などの生き物や手賀沼を身近に感じ、我孫子市の環境施策を推進する。	《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 【日程】①7月25日(火) ②8月2日(水) 【場所】水の館 研修室 【対象】小学生12人(3年生以下保護者同伴) 《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～》 【日程】7月27日(木)・8月3日(木) 【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《船から見る手賀沼のふしぎ》 【日程】7月26日(水) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《カヌー体験学習》 【日程】7月30日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生50人 ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 73人	A. 成果・効果があった どの事業も早くから定員になるほど申込が相次いでおり、夏休みのイベントとしての需要は高い。参加した子供達だけでなく親の反応も良かった 定員になってしまった後は全て断っているが、ひとまず申し込んでおいて当日キャンセル、という参加者もいるため、当日空きができてしまうのが課題となっている。	B. 改善・見直しを行う 当日の空いている参加枠を少なくするような案があると良いと思われる。	なし		手賀沼課

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
88	消費者の多様化するトラブルを防止するのに必要な情報を市民に提供するため、消費生活相談員や外部講師による消費生活講座を開催する。	<p>●ふれあいサロン 【日程・場所】</p> <p>①【日程】6月20日【場所】個人宅【参加者】15名 ②【日程】11月8日【場所】新木近隣センター【参加者】24名 ③【日程】12月8日【場所】アビスタ 第1学習室【参加者】31名 ④【日程】2月28日【場所】湖北台近隣センター 会議室【参加者】40名</p> <p>●出前講座 ①【日程】5月1日【場所】我孫子南近隣センター【参加者】30名 ②【日程】6月22日【場所】湖北地区公民館【参加者】56名 ③【日程】11月17日【場所】アビスタ 第1学習室【参加者】54名 ④【日程】2月13日【場所】近隣センター ふさの風【参加者】54名 ⑤【日程】3月9日【場所】マンション集会施設【参加者】20名</p> <p>●消費生活講座 【テーマ】「冬休みから始めるおこづかい帳～おこづかいの話と貯金箱づくり」 【講師】千葉県金融広報委員会 【日時】12月26日 【参加者】49名</p> <p>【テーマ】「新学期から始めるおこづかい帳～おこづかいの話と貯金箱づくり」 【講師】千葉県金融広報委員会 【日時】2月24日 【参加者】77名</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【全ての講座の参加人数】 450名</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>ふれあいサロン、出前講座についてはほぼ例年どりの内容であるが、消費生活講座については、初めて子ども向け（小学生とその保護者）対象の講座を実施、定員を超える応募があり、またアンケート結果でも概ね好評をいただいた。</p> <p>講座内容のニーズの把握と、広報の手法について検討の余地があると思われる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>ふれあいサロン、出前講座については、前年とほぼ同様に行う予定である。 消費生活講座については、消費生活相談の内容を参考にしたし、企業からの講師の派遣などを検討している。</p>	商業観光課	
		<p>●緑の講習会 《剪定入門 実技》 【日程】5月12日(金)【場所】気象台記念公園【定員】20人 参加23人 《ハーブの寄せ植え》 【日程】5月27日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人 参加41人 《剪定入門 果樹の手入れ》 【日程】5月28日(日)【場所】アビスタミニホール【定員】20人 参加16人 《庭造りはじめの一歩》 【日程】6月7日(水)【場所】アビスタ【定員】20人 参加16人 《お手入れ簡単！テラコッタ壺の寄せ植え実技》 【日程】6月30日(金)【場所】湖北地区公民館【定員】20人 参加25人 《多肉植物の寄せ植え》 【日程】9月13日(水)【場所】アビスタ【定員】20人 参加19人 《樹木の手入れ 座学》 【日程】10月21日(土)【場所】アビスタ【定員】20人 参加28人 《ハンギングバスケット～クリスマスバージョン～》 【日程】11月12日(日)【場所】湖北地区公民館【定員】20人 参加24人 《新春まで楽しめる艶やかリース》 【日程】11月25日(土)【場所】アビスタ【定員】20人 参加22人 《苔玉の正月飾り》 【日程】12月2日(土)【場所】湖北地区公民館【定員】20人 参加19人</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【合計参加人数】 233 人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>どの講座も例年人気の講座であり、キャンセル待ちがでるほどであった。実際の樹木を例にとり講義を行うなど、初めて参加したがわかりやすかったという声が多く寄せられた。また日ごろ困っている、自宅での樹木の手入れや植物の育て方なども講義中に対応し、参加者のニーズに合わせた講習会を今後も続けていきたい。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>●緑の講習会 《剪定入門 実技》 【日程】5月18日(金)【場所】気象台記念公園【定員】20人 《ガーデニングの基本講座》 【日程】5月24日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人 《ハーブの寄せ植え》 【日程】5月29日(火)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人 《初夏を彩るハンギングバスケット》 【日程】6月9日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人 《庭木の管理 講座編》 【日程】6月16日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】20人 《涼を誘う吊しのぶ》 【日程】7月11日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人 《秋のハンギングバスケット》 【日程】9月27日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人 《樹木の管理講座 実技編》 【日程】10月31日(水)【場所】気象台記念公園【定員】20人 《樹木の管理講座》 【日程】11月10日(土)【場所】アビスタ【定員】20人 《ウィンターリース作り》 【日程】11月28日(水)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人</p>		公園緑地課
89	<p>ガーデニングや庭の手入れ方法などの緑に関する知識や技能の講習会を開催し、多くの市民に園芸やガーデニングに興味を持ってもらい、みどり豊かなまちづくりを推進する。</p>						

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	90	<p>栄養教諭を中核とした食育推進事業</p> <p>食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる教室を開催する。</p>	<p>・学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行った。</p> <p>・5月に全校児童生徒を対象として我孫子産米・我孫子産野菜の認知度と朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。その他の項目についての食生活アンケートは小学5年生と中学1年生を対象に実施した。</p> <p>朝食を毎日食べる割合は、小学生92%、中学生85%であった。</p> <p>・8月に我孫子地区・湖北・布佐地区で親子料理教室を開催した。</p> <p>●親子クッキング教室 【日程】8月3日 【場所】アビスタ 【内容】夏をのりきる！元気もりメニュー 【対象】親子 【定員】30人 【参加者数】30人 【申込者数】198人</p> <p>●親子料理教室 【内容】10分でできる朝ごはんメニュー 【対象】親子 ①【日程】8月1日 【場所】布佐南近隣センター 【定員】24人 【参加者数】24人 【申込者数】66人 ②【日程】8月2日 【場所】湖北地区公民館 【定員】24人 【参加者数】23人 【申込者数】75人</p> <p>・11月に全校で学級別残菜調査を実施した。平均残菜率は2.2%であった。</p> <p>・授業研究会を年12回実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【教室・講習会開催回数】 3回 【教室・講習会参加者合計】 77人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>親子料理教室については、年々、申込者数が増えている。</p> <p>食育については、全体的に事業の数値的な評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	なし	学校教育課
	91	<p>生涯学習出前講座の運営</p> <p>市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図る。9月にPR事業として展示を行う。</p> <p>●出前講座 【講座数】 市役所メニュー 77 講座 市民講師メニュー 138 講座 キャンパスメニュー 31 講座 【年間利用状況】 件数： 163 件(うち市民講師講座： 77 件、キャンパスメニュー講座： 8 件) 人数： 3,058 人(うち市民講師講座： 1,281 人、キャンパスメニュー講座： 135 人)</p> <p>《出前講座PR展示》 【日程】9月14日～9月28日 【場所】アビスタ2階展示スペース</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【利用者満足度・件数】(回答者 143人) 《とても満足》 79.7%・114 件 《満足》 16.8%・24 件 《ふつう》 2.1%・3 件 《やや不満》 0.7%・1 件 未回答： 1 件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>出前講座の制度を市民グループに利用してもらうことで、市民の主体的な生涯学習活動を支援することができた。パネル展示で市民講師メニューの紹介を行ったり、メニュー表を市内に配布することで、制度の周知に繋がった。利用者アンケートの結果では、高い満足度を得ることができた。</p> <p>出前講座利用件数の減少</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>利用者のニーズは、状況により変化すると考えられるため、ニーズがないからと一概に削除することは適切でないと考える。利用者からの問い合わせがあった際は、様々な講座を併せて紹介していきたい。利用団体の増加に向けて、我孫子市内の学校やSNSを利用し出前講座のPRを行う。</p>	なし	生涯学習課	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	92	生涯学習普及啓発事業 我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、情報紙による学習情報提供や講演会等、学習の場の提供を通して、学びが人づくりとなり、人との交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習普及啓発事業を開催する。	<p>●夏休み！子ども落語会 & 16ミリアニメ映画会 夏休みの時期に子ども向けの落語会と16ミリアニメ映画会を活用した映画会と実施。 【日程】8月2日(水) 【場所】アビスタ ホール 【定員】150人 【参加者】119人 【内容】 ①「子ども落語会」講師・桂 右衛門治師匠 ・季節にあった親子で楽しめる落語と扇子や手ぬぐいの使い方ワークショップ ②16ミリアニメ映画会 ・あしたぶたの日ぶたじかん ・忍たま乱太郎のがんばるしかないさ～あたたかい心でしんせつにする～</p> <p>●卒サラ講座 定年後地域に帰ってきた方々が、現役時代に培われた知識や経験に加えて、「楽しい！」「これならイケる！」と思えるよな生きがいや居場所を見つけてもらえるよう「卒サラ講座 人生は定年後が面白い!!」と題した講座を市内各地区で1回完結型で開催。講座の後半では実際に地域で活躍されている方を招いて活動のきっかけや楽しみ等をお話いただいた。 【講師】我孫子市で活躍されている方 【日程・場所・参加者】 ①10月24日(火) 近隣センターふさの風 6人 ②10月29日(日) 我孫子北近隣センター(並木本館) 13人 ③11月 1日(水) 我孫子南近隣センター 8人 ④11月14日(火) 湖北台近隣センター 9人 ⑤11月17日(金) 天王台近隣センター 11人 ◇◆指標と実績◆◇ ●夏休み！子ども落語会 & 16ミリアニメ映画会 【アンケート結果】96%の方が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答</p> <p>●卒サラ講座 【アンケート結果】79%の方が「満足」「やや満足」と回答 【今後の展望について】 「生きがいを見つけたい」30%、「地域に貢献できる仕事をしたい」21%、「特技や趣味を極めたい」「特技や趣味、経験をいかした活動をしたい」「居場所や生きがいづくりに向けて、さらに情報収集したい。」18%</p>	<p>A. 成果・効果があった 主催講座については多く参加者を募ることが出来た。アンケート結果をみても講座に満足してくれている方も多く、生涯学習を普及する良い機会になっていると考えられる。 卒サラ講座では講座受講をきっかけにその場で活動を始める方もあらわれた。後半に行った実際に活動されている方の話やグループワークでは参加者一人ひとりが積極的に発言する様子が見受けられた。</p> <p>卒サラ講座に関しては昨年度実施時に比べて女性の参加も増え、満足度も高い講座を開催することが出来たが、実際参加してくれた方の多くは、既に何かしらの活動をしている方で、退職を機に何か始めたいというような方の参加があまりなかった。</p>	<p>A. 現状どおり推進 生涯学習普及啓発講座は内容とPRの仕方について検討をし進めていく。</p>	<p>公民館と連携し、市民ニーズに合った単発講座を行う。</p>	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	93	人権教育 地域で活動する社会教育関係者を対象に社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権教育中央研修会 【日程】6月8日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】全体会Ⅰ:講演「性別で見る多様性と人権」、講師:飯田 亮瑠 全体会Ⅱ:人権啓発ビデオ視聴 分散会:「各市町村教育委員会における人権教育推進上の取組について」</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月8日(金)【場所】さわやかちば県民プラザ 【対象者】市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員、生涯学習課職員 【内容】①千葉県の人権教育 ②講演「障害スポーツのすばらしさ」 【参加人数】2名</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【人権教育研修会参加者数】延べ3名</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>人権に関する研修会について、庁内関係職員や市内小中学校に周知することで学習機会を提供することが出来た。</p> <p>社会人権教育地区別研修会では、研修会の開催日時が学校行事の近くであったこともありうまく参加者を募ることが出来なかった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、人権にまつわる研修会については関係職員や関係機関へ情報提供を行っていく。開催日時や周知の仕方については担当者会議等で検討し改善していく。</p>	なし	生涯学習課
	94	スポーツ教室事業 我孫子市にゆかりのある優秀なスポーツ選手や企業などにおける人材をスポーツの指導・振興に活かし、スポーツ教室を行う。	<p>ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】平成29年4月30日 【人数】午前の部:47組、午後の部:84人 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】178人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>日本のトップ選手から直接指導を受けれること、普段と違うスポーツを体験することでスポーツの多様性に触れることができ貴重な機会となっている。</p> <p>普段スポーツをする習慣のない子供たちに如何に参加してもらえるか。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	95	<p>地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～</p> <p>市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、地域の小学校を取り込み、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。</p>	<p>《地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～》 【日程】平成30年2月24日(土) 【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【対象者】児童から高齢者まで広く</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【参加人数】 355人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>我孫子市内の第4小学校・湖北台西小学校・新木小学校を会場にスポーツ推進委員を中心として地域で活動するスポーツ団体との協力を得て開催し地域振興に繋げることができている。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>		文化・スポーツ課
	96	<p>鳥の博物館企画展</p> <p>鳥の生態や、鳥の体の仕組み、鳥の保全などについて理解を深めてもらうため、さまざまな視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。</p>	<p>●企画展示 【内容・日程】 第77回企画展「鳥の子育て～ジオラマで見る鳥の繁殖～」H29. 2. 11～6. 25 第78回企画展「鳥・酉・鶏・とり」(仮題)H29. 7. 15～11. 26 第79回企画展「友の会展」H29. 12. 9～H30. 1. 14 第80回企画展「日本の海鳥～カムリウミズメと行く海の旅～」H30. 1. 27～H30. 6. 24</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【入館者数(年間)】 指標： 36, 000人 実績： 37, 520人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>第78回企画展では、収蔵標本はもとより山階鳥類研究所等の関係機関から貴重な標本や絵画等を多数借用・活用し、干支である酉年に因んだテーマで開催した結果、市内外から多くの来館者を迎えることができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり			基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
97	市民農園維持管理事業 消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) 農園利用者の新規募集(随時)、平成30年度からの継続利用希望者の一斉募集(12月) 農園利用料の徴収(6月) 農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月) <p>●年間を通じた市民農園の維持管理 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) 農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載) 農園利用料の徴収 <p>【市民農園の詳細】 《日秀新田市民農園》 総区画114区画うち利用区画数111区画</p> <p>●体験イベント(日秀新田市民農園) 《じゃがいも収穫イベント》 【日程】平成29年6月24日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】69人</p> <p>《芋ほりイベント》 【日程】平成29年10月28日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】67人 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民農園利用区画数】111区画(一般区画全114区画中)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>平成30年3月末時点での日秀新田市民農園利用区画数が前年同月値に比べ5区画増加し、利用率が上昇した。利用者が増加したこともあり、収穫体験イベントの参加人数が前年に比べ増加した。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり</p> <p>平成30年5月より日秀新田市民農園の区画を増設(+8区画)し、新規利用希望者の受け入れを進める。</p>	農政課	
	98	親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム) 水質保全や水環境、エコ農業といった環境学習について、掲示などを用いて情報発信する。プラネタリウムの投影を行い、水環境保全啓発施設として運営する。	<p>水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、プラネタリウムの上映も行う。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【プラネタリウム投影事業参加者合計】 683回上映 14,763人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体賞切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保線啓発施設として一定の成果があった。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>なし</p>	手賀沼課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	99	ふれあい工場の運営管理事業 クリーンセンターに持ち込まれた再使用可能な家具等の修理や、リサイクル家具バザー等での販売、知識・技術を持ったアドバイザーによる技術指導・相談の実施により、再資源化活動を支援する。	<p>●各種リサイクル教室 【内容】布クラブ教室、バッグ作り教室、木工教室(鉢カバー等)、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、トールペイント、布リフォーム(エプロン、ブラウス作り)、包丁研ぎ、など 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合があり) ●家具バザーは随時 ●リサイクルフリーマーケット 【日程】6月4日(日) 【内容】リユースの促進を目的にふれあい工房内でフリーマーケットを開催 【参加者】市内在住・在勤・在学の個人 ●夏休み子ども体験フェスタ 【日程】7月22日(土)・23日(日) 【内容】実体験を通したリサイクルの啓発</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【来場者数】 フリーマーケット: 295人 夏休み子ども体験フェスタ: 331人/2日</p>	<p>A. 成果・効果があった アドバイザーによるリサイクルの技術指導で不要なものを再利用するなど、資源循環型社会の構築、市民と市との共同まちづくりの推進、社会福祉の向上を図っている。</p> <p>ふれあい工場の運営スタッフやリサイクル教室の指導に当たる技術アドバイザーが高齢化により集まらなくなっている。</p> <p>粗大ごみで排出される家具などの木製品が、安価な大量生産品に移行しており、リペアや加工できる質ではないためバザーに出せる製品が減っている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 前年度と同様</p>	なし	クリーンセンター
	100	新たな文化交流拠点施設整備の検討 新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書などを踏まえて、施設の機能や建設候補地などを建設構想案として取りまとめ、議会や市民の意見を聴きながら、さらに検討を進めていく。	<p>企画課・生涯学習課共同で「我孫子市文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書(平成26年10月)」をもとに、文化交流拠点施設建設構想案の取りまとめ作業を行った。市庁舎との複合化の可能性検討を行っているほか、他自治体にアンケートを行い、情報収集を行った。 ◇◆指標と実績◇◆ なし</p>	<p>A. 成果・効果があった 他自治体へアンケートを行い、施設の機能や規模、財源などの検討を行った。</p> <p>他自治体の情報収集等に時間を要したため、29年度内に文化交流拠点施設建設構想案の取りまとめができなかった。</p>	<p>A. 現状どおり推進 検討状況を平成30年秋ごろに議会や市民に示せるよう、作業を進めていく。</p>		企画課、生涯学習課
	101	地域交流教室の提供 学校施設の一部を市民団体やサークル、自治会などの学習拠点として開放する。	<p>地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要があると認める場合</p> <p>【使用形態】 月～日曜日の9時～21時(ただし、高野山小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校: 1教室、湖北台東小学校: 2教室 【利用件数】 第一小学校: 477件(稼働率45%) 布佐小学校: 136件(稼働率14%) 湖北台西小学校: 291件(稼働率28%) 高野山小学校: 213件(稼働率48%) 湖北台東小学校(2教室): 694件(稼働率32%) 合計: 1,811件 ◇◆指標と実績◇◆ 【地域交流教室の提供コマ数】 2,835コマ</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民団体やサークル等の交流や学習拠点として使用され、様々な活動を支援した。</p> <p>地域交流教室についてはどの学校も、児童の安全確保のために車での来場を禁止しているが、学校側から苦情が入ることがあった。その都度、団体へは注意喚起をしてきたが、近隣の施設への駐車など苦情が絶えない現状がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進 引き続き、車での来校の禁止については、使用団体に注意喚起し、子どもたちの安全確保に努める。</p>	<p>布佐小学校で地域交流教室として使ってきた余暇教室にて、あびっ子クラブが平成30年9月に開校するにあたり、地域交流教室があびっ子クラブと併用になる。そのため平成30年度4月より布佐小学校の地域交流教室の使用形態を次のとおり変更する。 【使用形態】 月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時</p>	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	102	公民館施設管理運営 生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 空調機器修繕、駐車場全自動精算システム、消防用設備修繕、学習室照明修繕など ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・備品購入 第1学習室CD・MDデッキ、学習用椅子 ・樹木剪定、草刈業務 ◇◆指標と実績◇◇ 【予定保守管執行率】 100%	A. 成果・効果があった 生涯学習センターの建物敷地の適切な維持管理を行い、市民の学習環境の整備を図った。 開館より10年以上が経過し、施設の修繕箇所が多くなっている。総合管理運営委託事業者より長期修繕計画が出されているため、修繕箇所に優先順位をつけながら、計画的予算の確保・修繕の実施を行うことが必要である。	A. 現状どおり推進 なし	今年度は市の施設について、バルクリース工事が実施される。アビスタも対象となっており、11月から12月にかけて工事が実施される。主管課である施設管理課、及び実施業者と連携を取りながら、遅滞のないよう実施したい。 なお、工事期間を南側1カ月、北側1カ月と分け、工事を実施していない方の施設を市民の利用に供したい。 その際は、工事の音、空調が効かないことを予め周知した上で、貸出を行うこととした。	生涯学習課
	103	湖北地区公民館空調設備更新工事 老朽化した空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	平成28年度工事完了。 ◇◆指標と実績◇◇				生涯学習課
	104	フリースポット（Wi-Fi）の提供 無線LAN（Wi-Fi）の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN（Wi-Fi）を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をする。 ◇◆指標と実績◇◇ 【無線LAN設置箇所】 1箇所	A. 成果・効果があった 人数、接続時間等は把握できないが、より学習環境が快適になっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	生涯学習課
	105	施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを導入し市民の利便性の向上を図る。	28年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用する。 ◇◆指標と実績◇◇ 我孫子地区公民館 【団体利用件数、人数】 8, 132件、 129, 963人 【個人利用件数、人数】 288件、 288人 湖北地区公民館 【団体利用件数、人数】 3, 146件、 76, 074人 【個人利用件数、人数】 67件、 67人	A. 成果・効果があった 施設予約については、全てインターネット予約としている。利用者にとってもPCや携帯電話等、インターネット環境があれば、いつでもどこでも利用できるため、利用者の利便性向上になっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	106	市民体育館管理運営 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民体育館利用者数】 172,396人	A. 成果・効果があった 利用者数について順調に伸びており、指定管理者制度の効果が上がっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	平成30年度から再度、5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定	文化・スポーツ課	
	107	体育施設管理運営事業、維持補修 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 ・布佐下多目的広場・五本松運動整備業務・利根川ゆうゆう公園サッカー場補修業務 ●管理運営 ・つくし野多目的広場管理運営・浅間前多目的広場草刈り・利根川ゆうゆう公園オフロードコース草刈り ◇◆指標と実績◆◇ 【体育施設利用者数】 52,967人	A. 成果・効果があった 維持補修については、予定事業完了 管理運営については、予定通りに完了 なし	A. 現状どおり推進 なし	湖北台中央公園野球場バックネット塗装 湖北台中央公園野球場バックネット修繕	文化・スポーツ課	
	108	武道施設の建設整備の検討 全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討を行う。	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【整備進捗率】 0%	B. あまり成果・効果がなかった 地権者との交渉に進展がみられなかったため。 なし	B. 改善・見直しを行う 整備場所の再検討を行い、実行の可能性を検討 なし	なし	文化・スポーツ課	
	109	市民体育館維持補修、改修事業 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	●維持補修・改修 ・市民体育館野球場バックネット柱鉄部塗装 ・市民体育館野球場排水改修 ・市民体育館野球場内野ネットフェンス修繕 ・市民体育館1階男子トイレスチール扉修繕 ・市民体育館メインアリーナバスケットゴール修繕 ◇◆指標と実績◆◇ 【修繕・改修工事の進捗率】 100%	A. 成果・効果があった なし	A. 現状どおり推進 なし	庭球場改修工事 サブアリーナ棟屋根等改修工事	文化・スポーツ課	

	No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	110	学校体育施設開放事業 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●小学校プール開放事業 《一般開放》 【日程】7月29日から8月20日までの23日間 【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、湖北台東、根戸、新木、布佐南、高野山の11校 《団体開放》 【日程】8月4日から8月8日までの5日間 【場所】我孫子第二、布佐の2校 ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。 ◇◆指標と実績◇◆ 【プール開放利用者数】 8,036人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】 189,015人	A. 成果・効果があった 市民が身近な場所でスポーツ活動する場の確保として成果を上げている。	A. 現状どおり推進 なし		文化・スポーツ課
	111	ふれあいキャンプ場管理運営 市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。 ◇◆指標と実績◇◆ ●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】 652件、 8,382人	A. 成果・効果があった 利用人数も微増であるが増えており市民の余暇の場の提供として寄与している。	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課
	112	文化財等の保存と活用 市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	●文化財説明板の設置…「血脇先生謝恩之碑」説明板の設置 ●文化財展示会の実施 【日程】2月17日～20日 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠の夕べ》【日程】10月7日 【参加者】 404人 《ひなのまつり》【日程】2月23日～3月4日 【参加者】 933人 ●郷土資料室等の運営…発掘速報展などの実施 ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者合計】1,337人	A. 成果・効果があった 文化施設でのイベント開催により、多くの市民に文化財保護の必要性を周知できた。	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 ①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びのある場のまちづくり	113	杉村楚人冠記念館の保存と活用 杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知らせてもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●春期企画展「血闘守之助」 【日程】3月7日～5月14日(前年度より継続) ●テーマ展示「教科書にのった楚人冠」 【日程】5月20日～7月9日 ●夏期企画展 明治150周年記念事業「明治時代の仏教青年～『新仏教』の足跡」 【日程】7月11日～10月1日 ●冬期企画展 南方熊楠生誕150年記念「杉村楚人冠と南方熊楠」 【日程】10月7日～1月8日 ●テーマ展示「楚人冠の刀剣鑑賞」 【日程】1月10日～3月4日 ●春期企画展「楚人冠と俳人たち～ホトギスから湖畔吟社まで」 【日程】3月6日～5月13日(翌年度継続) ●清接庵茶会(我孫子高校茶道部と連携) 【日程】3月18日 ◇◆指標と実績◆◆ 【来訪者(年間)】 3, 293人	A. 成果・効果があった 来館者数では昨年度より減ったものの、これは平成28年度に民間団体による大規模なガイドツアーが実施されていた影響が大きく、27年度と比べると来館者を増やすことができた。特に、冬期企画展に南方熊楠生誕150年記念の企画をあてた影響が大きく、生誕150年に合わせ国立科学博物館の展示など南方熊楠に関する情報の発信が増えた時期に、当館でも関連する展示を開催できた効果である。平成28年度は夏目漱石、29年度は南方熊楠の記念の年に企画展を開催することで大きな成果をあげ、また29年度はテレビ放映の効果もあったが、毎年このような機会に恵まれるわけではない。時期をとらえた企画で来館者を確保しつつ、そのような機会に来館された方が再度訪れるように発信を継続していく必要がある。	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課
	114	旧井上家住宅の保存と活用 旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ●二番土蔵保存整備工事 【期間】平成28年7月1日～30年7月31日(予定) ●現状記録報告書作成 ●保存整備工事現地見学会 【日程】5月13日 ●新土蔵を使ったイベント <<土蔵古本市>>【日程】7月1日・2日【参加者】118人 <<SPレコードコンサート>>【日程】11月25日【参加者】44人 <<鉄道模型運転会>>【日程】12月9日・10日【参加者】418人 ◇◆指標と実績◆◆ 【保存整備工事の進捗率】66%	A. 成果・効果があった 3年間にわたる工事の2か年目を順調に終えることができた。工事現場の見学会を通じて、文化財保存の意義を周知することができた。	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課
	115	白樺文学館の運営 大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●常設テーマ <<白樺派と我孫子>> 【日程】2月1日～9月24日(前年度より継続) <<民藝運動と我孫子>> 【日程】1月31日～9月30日(翌年度に継続) ●朗読イベント <<朗読のひととき>> 【日程】5月・7月・8月・10月・11月・1月・2月 ●ピアノイベント <<白樺サロンのひととき>> 【日程】4月・5月・6月・7月・8月・10月・11月・12月・1月・3月 ◇◆指標と実績◆◆ 【入館者(年間)】5, 115人	A. 成果・効果があった イベント、企画展、特別展の実施により、前年度比388名の増加となった。市民スタッフがイベントへの参加を通じて、白樺派、民藝運動への興味関心を深めることができた。	A. 現状どおり推進 なし	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	116	手賀沼文化拠点整備計画の推進 我孫子市内には、古墳や郡衙（ぐんが）などの遺跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場、大正時代の別荘、文人たちの旧居など、多時代に亘る数多くの史跡が、沼と樹林地、丘陵と一体となって所在しており、それらを単に保存、維持することだけにとどまらず、一体のものとして連携させ、積極的な整備、活用を図っていくことが求められている情勢を踏まえ、手賀沼沿いに点在する多くの文化ポイントのネットワーク化を行い、体系だった整備、活用を進める。	関係課長会議の開催 【日程】5月31日 ◆◆指標と実績◆◆ 会議の開催 1回	A. 成果・効果があった 関係各課の連携を確認し、適切な進行管理ができた。 なし	A. 現状どおり推進	平成21年度から10年間の実施内容について総括を行う。	文化・スポーツ課	
	117	移動図書館業務 移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や、乳幼児を連れてきた親子等に学習の機会を提供する。	移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金の午後に市内14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。 ◆◆指標と実績◆◆ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 20,344冊 (昨年比) 90.0%	A. 成果・効果があった 天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アピスタ本館、湖北台分館、布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。 利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。また、状況に応じてステーションの廃止または移動の検討も必要である。現移動図書館車は平成13年7月に車両を更新してから17年が経過しており不具合も増えてきた。安全運行のためにも更新が必要である。	A. 現状どおり推進 移動図書館車の更新については、助成金の申請を引き続き行っていく。また、学校、高齢者施設などへの移動図書館車の巡回など、移動図書館の可能性について検討していく必要がある。	移動図書館車の更新について、助成金の申請を行う。	図書館	
	118	湖北地区図書館の整備 現在の市民図書館湖北台分館は面積・設備・機能面で十分な図書館とは言えないことから、湖北地区の利用者への直接サービスの拠点として、湖北地区図書館を建設する。	湖北地区図書館を含め、湖北台地区公共施設については、都市計画道路整備事業による若草幼稚園の移転内容を踏まえた上で整備方針を検討した。 ◆◆指標と実績◆◆ 【庁内検討会議の開催数】 2回	C. 未実施・わからない 企画課を中心として策定する湖北台地区の公共施設についての整備方針に沿って対応する。 企画課を中心として策定する湖北台地区の公共施設についての整備方針及び「我孫子市公共施設等総合管理計画」に沿って、我孫子市の図書館全体についての整備検討を行う必要がある。	B. 改善・見直しを行う	なし	図書館	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	119	図書館会議室及び展示スペースの提供 図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	布佐分館会議室を貸し出した。 湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供した。 《布佐分館》 第1会議室（申請に応じて随時）、第2会議室（申請に応じて随時）、ミニギャラリー（年12回） 《湖北台分館》 ミニギャラリー（年12回） ◇◆指標と実績◇◆ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 133回（昨年度比 134.0%） 【壁面ギャラリー利用率】 《布佐分館》100% 《湖北台分館》100%	A. 成果・効果があった ミニギャラリーについては、湖北台・布佐分館とも予約が1年先まで入るほど盛況であった。市民の自主的な学習機会と発表の場を提供することができた。 会議室については未利用の日もあるため、一層の利用促進に努める必要がある。	A. 現状どおり推進 布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後引き続き推進していく。	なし	図書館
	120	鳥の博物館管理運営 鳥の博物館内の照明・空調等の更新や、展示のための壁面修繕、配線工事を実施するなど、施設の維持管理を行う。	●施設設備修繕 ・空調用加圧給水ポンプ部品交換 ・多目的ホール・レースカーテン設置 ・ハロン消火設備更新 ◇◆指標と実績◇◆ なし	A. 成果・効果があった これまでどおり、利用者に快適な館内環境を提供することが可能となった。 なし	A. 現状どおり推進 平成30年度は自動ドア駆動装置交換修繕を行う。	なし	鳥の博物館
	121	鳥の博物館空調設備更新工事 施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	平成28年度工事完了 ◇◆指標と実績◇◆				

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	②近隣自治体との施設の利用	122 鳥の博物館展示リニューアル 科学の進歩に合わせた情報の更新や時代に沿った展示手法の導入により、信頼のおける情報の提供を行い、展示の基本となる収蔵資料の保管・管理機能の充実を図る。	常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集し・整理する。また、財源的な裏付けについて検討する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【入館者数(年間)】 指標: 36,000人 実績: 37,520人	A. 成果・効果があった 常設展示のリニューアルに伴う基本計画、実施計画、及び工事費に係る必要経費等について、複数の事業者からヒアリングを行い、おおよその金額を把握できた。 展示リニューアル計画を実行する上での財政的な見通しが立たない。	A. 現状どおり推進	本年度、事業者への業務委託を予定していた展示リニューアル計画に係る基本計画策定については、事業者へ委託せず学芸員により策定する方向で検討していく。	鳥の博物館	
		②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用		②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用				
		123 手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】11月18日(土) 【場所】手賀沼公園 【人数】約173人 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催) 【対象者】市民 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼ふれあいウォーク参加者数】173人	A. 成果・効果があった 当日は、曇り時々雨の天候で前年度と同様に良い天候ではなく、参加者は前年度の101人に比べわずかに増加した程度にとどまった。当日参加した市民に対しては、運動習慣の重要性等を知ってもらう機会を提供できた。 天候が良くないと屋外型イベントのため、参加者の確保が難しい。	A. 現状どおり推進	千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市で組織している「手賀沼ふれあいウォーク実行委員会」にて十分な協議を行い、歩くことが好きな市民を増やし、もって市民の心身の健康増進に寄与する。	なし	健康づくり支援課
		124 近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	民間施設温水プール(1施設)、川村学園女子大学グラウンド(1面)を一般市民に開放する。 取手市との体育施設(8施設)の相互利用の継続。 ◇◆指標と実績◆◇ 【相互利用している近隣市・市民一般開放している民間企業の体育施設数】 取手市の相互利用している施設 8施設 民間施設 2施設	A. 成果・効果があった 民間の2施設の開放については、市民の貴重なスポーツ活動の場となっている。取手市との相互利用についてはお互いの市民が市民料金で利用できることから多くの市民が活用している。 なし	A. 現状どおり推進	なし	なし	文化・スポーツ課
125 手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第23回手賀沼エコマラソン 【日程】10月29日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【参加者】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼エコマラソン参加者数】6,012人 荒天のため参加者が減少	A. 成果・効果があった 日本全国から多くランナーが集い我孫子市のPRとなっている。 なし	A. 現状どおり推進	なし	なし	文化・スポーツ課		

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標3 多様な学びのある場のまちづくり	126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力 千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県立図書館巡回車(週1回)による県内図書館相互貸借業務 市内大学との連携による利用紹介発行・図書相互貸借業務 国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務 千葉県公共図書館協会事務、第3ブロック幹事館事務 <p>●相互貸借申込 【他図書館への貸出(A)】 2,270冊 【他図書館からの借入(B)】 6,044冊</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【年間相互貸借冊数(A+B)】 8,314冊</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>多種多様な資料・情報に対する市民の要望は多く、その幅広いニーズに応えることができた。</p> <p>全国の同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数は上位に位置し、相互協力による借受は活発であるが、必要な資料は揃えることができるよう資料費の確保に努める必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>資料費が限られている中、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は不可欠であり、今後も継続して推進していく。</p>	なし	図書館
		基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり			基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり		
基本目標4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充						
	127	(再掲) 生涯学習出前講座の運営					生涯学習課
	128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録 自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	<p>生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供した。</p> <p>【講座登録数】(平成30年3月31日) 市民講師メニュー 138 講座 【講師登録数】(平成30年3月31日) 講師: 58 人 団体: 7 団体</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【新規登録数】2 人、1 団体</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民講師の講座数は増えている。市民講師として積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	生涯学習課
129	(再掲) 生涯学習人材バンクの整備					生涯学習課	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすこと ができるまちづくり	130	アピスター一時保育事業 生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全69回 【場所】生涯学習センターアピスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児 [利用者内訳] <<毎週水曜日>> 【利用回数】 51回 【利用者】 95人 <<公民館事業(家庭教育学級、プチ家庭教育学級、のびのび親子学級家庭教育学級合同講演会等)>> 【利用回数】 19回 【利用者】 93人 ◇◆指標と実績◆◇ 【保育利用者】 188 人	A. 成果・効果があった 繰り返し利用される方が多く、子育て中の施設利用者の学習機会の向上を促した。	B. 改善・見直しを行う ・祝祭日の保育スタッフ事業の廃止について検討する。 ・ホームページ、SNS、チラシ等による更なるPR推進を検討する。	・(株)東進ビルシステムによるチラシによるPRを実施予定。(我孫子地区公民館、湖北地区公民館、アピシルベ、保健センター)	生涯学習課
	131	(再掲) 生涯学習ボランティア					生涯学習課
	132	文化事業市民スタッフ 教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施した。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】 27人 【派遣件数】 10件 【派遣人数】 117人(延べ) 【派遣件名】 特別展葛飾北斎とその時代、市民コンサート、郷土芸能祭、文化財展、フレッシュコンサート 他 【業務内容】 コンサートのチケットもぎり、会場整理、受付案内 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【登録人数】 29人	A. 成果・効果があった 市民が登録し、各事業を裏方として活動してもらった。 例年に比べ、多くの活動機会を提供することができた。	A. 現状どおり推進 今後も、登録者の確保に努め、市民に機会を提供していく。	なし	文化・スポーツ課

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	133	<p>防災士及び災害救援ボランティア育成事業</p> <p>防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、自助・共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。</p> <p>●第8回災害救援ボランティア講座 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【開催日程】11月11日(土)、11月18日(土)、11月19日(日) 【開催場所】中央学院大学・消防本部 【対象者】市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 【募集人数】一般10名 学生30名 計 40名</p> <p>●防災士補助金交付 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【補助額】受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 【対象者】市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者) ◇◆指標と実績◇◆ 【災害救援ボランティア講座の受講者数】 14人(一般9人、学生5人) 【防災士 受験者数】 1人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>昨年より参加者が多く、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充 前年度と同様に実施(変更点なし)	市民安全課
	134	<p>失語症会話パートナー養成講座</p> <p>失語のある人のコミュニケーションを支援するため、市民を対象に失語に関する知識と会話技術に関する講習と実習を行う。</p>	<p>●失語のある人向け意思疎通支援者養成講座 失語のことをよく理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる意思疎通支援者を養成するため、市民を対象に失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催した。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】入門編(4時間×3日)、応用編(4時間×5日)、実践編(4時間×2日)。入門編は年3回実施。 【定員】12人 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料 ◇◆指標と実績◇◆ 【失語のある人向け意思疎通支援者延べ派遣人数】 418 人 【失語のある人向け意思疎通支援者登録者人数】 25 人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>意思疎通支援者養成講座は、厚生労働省のモデル事業として例年の10倍のカリキュラム数で実施したことにより、受講者の会話技術の質が向上した。</p> <p>平成30年度以降、意思疎通支援者の養成は都道府県地域生活支援事業の必須事業となったため、市内で啓発を行い、多くの市民に養成講座の受講を勧める必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>失語のある人向け意思疎通支援者派遣事業は、ニーズが高いため現状どおり推進する。</p>	失語のある人向け意思疎通支援者の養成は、県が地域生活支援事業における意思疎通支援事業の中で実施する。	障害福祉支援課(障害者福祉センター)
	135	<p>介護予防サポーター養成講座</p> <p>介護予防に関する知識や技術を地域の人々に普及啓発していく、高齢者の介護予防活動のリーダーを育成し支援する。</p>	<p>1. 地域において住民主体で活動する団体向けに、認知症予防運動研修会を実施 【開催場所】我孫子市民プラザ、湖北地区公民館 【時 期】平成29年4月下旬～6月下旬 【対 象】シニアクラブや自治会等の団体リーダー</p> <p>2. フォローアップ研修を実施(1団体あたり2回、述べ6回実施) 【開催場所】同上 【時 期】平成29年9月下旬～12月上旬 【対 象】28度に実施した認知症予防運動研修会に参加した団体のリーダー</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ フォローアップ研修会参加者へ研修会終了後アンケートを行った結果、研修会で実施した「筋トレや認知症予防運動等」のプログラムを日々の活動に取り入れている。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>リーダー養成を行った結果、身近な地域の通いの場であるきらめきデイサービス(サロン)において、介護予防の取り組みを実施することができるようになった。また、我孫子市リハビリ協会のリハビリ専門職(理学療法士)と連携して研修会を開催することで、専門的な立場からより効果的な指導を受けることができた。</p> <p>介護予防強化型きらめきデイサービスにおいて、介護予防活動の定着を図る。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続きリハビリ専門職と連携しながら、団体のリーダーを対象に研修会(フォローアップ研修も含む)を開催し、シニアリーダーを育成していく。</p>	変更点なし	高齢者支援課

	N O	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	136	子育てサポーター養成講座 核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、子育てを支援する人材を育成し、地域における子育て力を強化するため、子育てサポーター養成講座を開講し、子育てサポーターを養成する。	●子育てサポーター・子育て支援員研修 【日程】 《基本研修》 6月2日(金)、6月9日(金) 2日間 《専門研修》 6月16日(金)、6月23日(金)、6月30日(金)、7月4日(火)、7月18日(火) 5日間 《保育園見学実習》 7月5日(水)～14(金) 2日間 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人 【参加者】30人 ◇◆指標と実績◇◆ 【子育てサポーター人数】77人(新規 11人)	A. 成果・効果があった 活動への意識の高いサポーターは、子どもの見守りや家庭への訪問活動に積極的に参加し、地域の子育て量の向上へとつながっている。 積極的に活動する子育てサポーターは限られているので、子育てサポーター全体への活動の促しと共に、活動の場を広げていく。	A. 現状どおり推進 なし	なし	保育課
	137	環境レンジャー活動への支援 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動を支援する。	●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 5月27日(土) 利根川ゆうゆう公園観察会(参加者12名)、7月29日(土) ホテル観賞会(参加者58名) 10月28日(土) 谷津の自然観察と谷津まつり(中止 参加者0名)、1月28日(日) 手賀沼の冬鳥船上観察会(参加者28名) ●Enjoy手賀沼！ブース出展をする。(参加者410名) 【日程】5月14日(日) ●水の館オープニングイベントでブース出展をする。(参加者542名) 【日程】6月3日(土)、4日(日) ●環境レンジャー通信「たまっけ」の発行をする。 【発行日】4/15(68号) 10/15(69号) 1/15(70号) ●エコ・こども教室を開催する。 【日程】10月15日(日) ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◇◆ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】 13人	A. 成果・効果があった 各事業とも例年楽しみにしている人もおり、盛り上がった。 このほか、生き物ぬり絵は子どもたちの人気が高く、Enjoy!手賀沼では410名の参加があった。また、水の館オープニングイベントでは、542名の参加があった。 環境レンジャーの高齢化が進んでおり、サポーターを増やす手法を模索する。	A. 現状どおり推進 なし	なし	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	138	緑のボランティアの森づくり 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日(予定) ≪古利根自然観察の森活動≫【日程】偶数月第2土・奇数月第2日 ≪古利根沼べり活動≫【日程】毎月第3水 古利根自然活動の森活動・古利根沼べり活動 のべ27人 ≪中里市民の森活動≫【日程】奇数月第4日(ただし12月は中里市民の森活動) のべ44人 ≪岡発戸市民の森活動≫【日程】偶数月第4日(ただし5月は岡発戸市民の森活動)のべ32人 ◇◆指標と実績◇◇ 【我孫子市みどりのボランティア登録人数】394人(内、古利根みどりのボランティアと登録人数 36人)	A. 成果・効果があった みどりのボランティアの定期的な活動により、古利根沼や斜面林の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。 なし	A. 現状どおり推進	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日(予定) ≪古利根自然観察の森活動≫【日程】偶数月第2土・奇数月第2日・毎月第4水 ≪古利根沼べり活動≫【日程】毎月第3水 ≪中里市民の森活動≫【日程】偶数月第4日 ≪岡発戸市民の森活動≫【日程】奇数月第4日	公園緑地課
	139	生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施 生涯学習出前講座市民講師の共通認識の向上と、講座の内容充実を図るため、市民講師を対象とした研修会等を行う。	廃止 ◇◆指標と実績◇◇ なし	C. 未実施・わからない	C. 廃止・休止	なし	

	N O	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	140	生涯学習審議会委員の研修 生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会を実施する。	生涯学習審議会発足にあたり、審議委員の研修を行った。 【実施回数】2回実施予定 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】 8月22日(火) 【場所】 松戸市 【内容】 講演「障害者スポーツからインクルーシブな社会を考える」順天堂大学 渡正氏 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】 1月23日(火) ※悪天候のため中止 【場所】 松戸市 【内容】 視察：松戸市戸定邸歴史館、戸定邸 講話：「明治150年変革期の徳川家と文化財」戸定歴史館館長 斎藤洋一氏 ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習審議会委員の研修参加者数】 1名 (1月16日の合同研修会が中止となったため)	A. 成果・効果があった 研修をきっかけに、現在地域で抱える問題等について学んだり、他市の委員との情報交換の場となった。 なし	A. 現状どおり推進 引き続き、研修の機会を生涯学習審議会委員の方に提供し、さらに知識・見識の習得を図り、研修を通じて他市との交流や情報交換の機会となるように実施していく。	なし	生涯学習課
		スポーツ指導者の研修制度の確立 市民の多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者の研修制度を検討し、確認する。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	平成30年度の指導者養成講習会開催にむけて具体的に我孫子市体育協会と協議、予算措置を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 協議回数 2回	A. 成果・効果があった 30年度に実施することとなった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	なし	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	142	<p>市民コンサート</p> <p>市内や近郊の音楽愛好家の交流を図るとともに、多くの市民に音楽を演奏することの素晴らしさを身近に感じてもらえるよう、教育委員会、我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団が実行委員会を組織して、コンサートを開催する。</p>	<p>●市民コンサート</p> <p>【日程】12月23日(土)、24日(日)</p> <p>【場所】けやきプラザ ふれあいホール</p> <p>【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【来場者数】 919人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>演奏会を実施し、来場者の期待等に応える演奏会であった。</p> <p>出演者の高齢化が進んでいる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民参加の実行委員会を組織し、観客に音楽の素晴らしさをアピールすることによって、実行委員会と出演者にとっては事業を担う達成感が得られ、次の活動意欲に繋がる。また来場者にとっては、音楽の素晴らしさを体感する機会となり、心に安らぎが得られることと、また参加しようとする市民の想いを掻き立てる場になっている。</p>	<p>③学んだ成果を評価するしくみの構築</p> <p>コンサート自体に、変更点はありませんが、多くの方が興味を抱くような内容としたい。</p>	文化・スポーツ課
	143	<p>市民参加型コンサート</p> <p>市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。</p>	<p>●市民参加型コンサート</p> <p>【事業名】フレッシュコンサート</p> <p>【日程】2月18日(日)</p> <p>【内容】市ゆかりの高校生や大学生が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施)</p> <p>【開催場所】市民プラザ ホール</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【参加者】 198人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>一般市民から参加を募り、大学生や高校生、中学生が出演した。出演者にとっては、貴重な機会となった。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も、音楽家を目指す子どもたちの経験の場として、コンサートを開催していきます。</p>	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
③ 学んだ成果を評価するしくみの構築 5 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	144	文化祭 多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】9月16日(土)～12月10日(日) 【開催場所】アピスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティーホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合奏、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フリス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門 ◇◆指標と実績◆◆ 【出演者数】 4, 854人 【入場者数】 15, 132人	A. 成果・効果があった 多くの参加者を募り、開催することができた。 また、60回の節目の機会を受け、オープニングセレモニーなど、例年には無いイベントを同時に開催し、より盛大に開催することができた。 運営する人材が、年々、高齢化が進んでいる。	A. 現状どおり推進 市民と共同で行う文化事業であり、市の文化芸術の振興に繋がることから、引き続き多くの参加者を募り推進していく。	なし	文化・スポーツ課
	145	寄贈絵画展 市に寄贈された絵画を有効活用しながら絵画展を実施し、市民の芸術の心を育む。	※寄贈絵画展に代わるものとして文化財展を開催した。 ●文化財展 昨年度に引き続き、文化財展は我孫子市指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像、十二神将像のうち三神像のなど、文化財展として開催。 【日程】平成30年2月17日～20日(4日間) 【場所】市民プラザ ギャラリー ◇◆指標と実績◆◆ 【入場者数】 667人	A. 成果・効果があった フレッシュコンサートとコラボ開催することにより、歴史と音楽というお互いをアピールする機会となった。 なし	A. 現状どおり推進 コラボ開催したことで得られた経験を活かして今後とも積極的に展開していきたい。	なし	文化・スポーツ課
	146	めるへん文庫 子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫審査委員の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】市内外の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】5月1日～9月30日 ≪表彰式≫ 【日程】平成30年3月17日(土) 【受賞】 小学生の部 1席1名、2席1名、3席4名 中学生の部 1席1名、2席2名、3席7名 高校生の部 1席なし、2席なし、3席2名 ◇◆指標と実績◆◆ 【作品応募数】 189編	A. 成果・効果があった 今年も、多くの子ども達からの応募があり、創作活動を通じ豊かな感性を育む機会や作品を発表する機会を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 子どもたちの創作活動の場として非常に貴重であり、今後とも積極的に推進し、PRしていく。	特になし。	文化・スポーツ課
	147	(再掲) 郷土芸能への支援					
148	(再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業						文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり		基本目標 5 学びでつながるまちづくり			基本目標 5 学びでつながるまちづくり		
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実			①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	149	市民のチカラ 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●市民のチカラまつり 【日程】11月25・26日 【場所】けやきプラザ(我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階))、アビシルベ、アビイクオーレ 【内容】「展示・発表・体験部門」では、市民活動団体による日頃の活動の成果を発表するパネル展示や、スタンプラリー、昔遊び、工作、合唱、食に関する体験イベント、子育てに関する座談会などの参加型企画、参加団体によるステージ上でのパフォーマンス、福祉作業所の製作品、地元商店による食品販売等が行われた。 「企画部門」では、市民活動団体が社会課題等の解決や啓蒙等の講演会・勉強会の企画を自ら提案・運営を行い、広く市民を対象に実施した。 【参加者】人数:3,000名、参加団体:79団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】10人	A. 成果・効果があった 今年度は子供を対象とした企画を多く実施し、例年の来場者よりも比較的年齢が若い世代の来場が見られ、普段市民活動に触れることの少ない世代への啓発が図れた。 なし	A. 現状どおり推進 実行委員会形式で実施し、昨年同様子どもを対象とした企画を実施することで親世代の参加も増やしている。	なし	市民活動支援課
	150	(再掲) あび子どもまつり					子ども支援課
	151	(再掲) げんきフェスタ					子ども支援課
	152	学校支援事業の充実 学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民・保護者・大学生などによる学校支援ボランティア活動を行う。	・学校支援地域本部事業について、もう一度趣旨・目的を説明し学校全体として取り組むようにする。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するよう、コーディネーター会議を定例化していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動を進められるようにする。 【場所】市内小中学校 19校 【実働人数】 《小学校》延べ 29,921人 《中学校》延べ 12,141人 ◇◆指標と実績◆◇ 【ボランティア活動実働人数】42,062人(小中学校延べ)	A. 成果・効果があった ・中学校区を単位としたコーディネーター活動が行われ、ボランティア活動の人材の共有化も行われた。 ・高校・大学との連携を推進し、学生の学習支援参加が急増した。 ・各学校とも計画的・継続的な学校支援ボランティア活動が行われ、特色ある学校づくりが進められた。 ・地域の方々の学校支援ボランティアへの参加が減ってきている。	A. 現状どおり推進	・学校支援地域本部が中心となり、各関係機関・団体、大学・高校と連携しボランティア人材を確保する。 ・学校の支援活動ニーズと支援活動年間計画を作成する。	指導課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容	担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	153	(再掲) 生涯学習学習相談体制の整備					
	154	(再掲) 長寿大学					生涯学習課
	155	(再掲) 家庭教育学級					生涯学習課
	156	(再掲) のびのび親子学級					生涯学習課
	157	(再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース					生涯学習課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
158	<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p> <p>在住外国人支援事業</p> <p>在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。</p>	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日34回、土曜日35回(火曜日は託児を実施) 【場所】アピスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】95人 【ボランティア講師】36人 【託児登録児童数】7人 【託児ボランティア】11人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語対応 【相談件数】16件 【登録相談員】11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳派遣日数】11日(北アリゾナ大学研修団対応[1日]、我孫子野外美術展[5日]、第15回ジャパンバードフェスティバル[2日]、こどもスポーツ国際交流[2日]、市内クリニック[1日]) 【通訳派遣数】のべ33人</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】50枚(「広報あびこ」主要記事の英訳、AIRAホームページの英訳、翻訳勉強会における講師業務、企業や個人からの翻訳要請への対応など) ◆◆指標と実績◆◆ 【外国人のための日本語教室開催回数】69回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●外国人のための日本語教室 受講者のニーズ調査を行ったり、ゲームや地図を活用したりすることで、受講者が日本語を楽しく学ぶことができた。授業のほかにも2回の講習会を実施し、延べ67人の参加があった。</p> <p>●外国人相談窓口事業 AIRA事務局が相談窓口となり、家庭内問題、暮らし、行政手続き、求職に関する相談などに対応した。専門的な内容については関係部署へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。</p> <p>●外国語通訳派遣事業 我孫子野外美術展の開催にあたっては、事前のシンポジウムやTV取材時の通訳など、多岐に渡り活動した。</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 市やAIRAが発信する情報の英訳により、幅広い層へ情報発信することができた。全6回に渡る翻訳勉強会には各回10人程度が参加し、技術の向上が図られた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p> <p>なし</p>	企画課	
		<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p> <p>5 学びでつながるまちづくり</p>					

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	159	公募補助金制度の運用 市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	<p>●公募補助金の運用 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。</p> <p>【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(平成27年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規応募申請団体】2団体 【公募補助金交付件数】16件</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。</p> <p>【次年度申請分審査状況】 審査申請: 9件(新規申請2件) 審査結果: 採択 7件、不採択 2件</p> <p>制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすること目的としているが、自立した団体は少ない。既得権益的な制度となっていることは今後の課題と考える。</p>	<p>A. 現状どおり推進 現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。</p>	なし	市民活動支援課
	160	市民公益活動補償制度の運用 市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。	<p>市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。</p> <p>【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。</p> <p>【補償の種類】 傷害、損害賠償</p> <p>【支払】 《傷害》 ・支払件数: 16件 ・支払金額: 654千円 ◇◆指標と実績◆◇ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任についてすべて補償。</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民活動を支援していく側面として、活動中における補償も必要であるため。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	市民活動支援課
	161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣 資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	<p>要請があれば実施。施設見学は、解体工事等に併い一時中止中。</p> <p>《勉強会への講師派遣》 【日程】平成29年6月5日(月)13:30~14:00 【場所】我孫子南近隣センター 8階 第1会議室 【内容】「我孫子の廃棄物 現状と課題、新炉について」 【参加者】市民団体 30名</p> <p>《出前講座》 【日程】平成29年5月26日(金)10:00~12:00 【場所】湖北地区公民館 第3学習室 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】長寿大学4学年(41期生) 46名 ◇◆指標と実績◆◇ 【申し込み団体数】 講師派遣 2団体</p>	<p>A. 成果・効果があった 終了後、施策の施策の重要性など具体的な感想が寄せられたことから、有意義であると考えられる。 (成果・効果を数字では表せません。)</p> <p>職員減による講師不足、解体工事等に併う施設見学の一時中止</p>	<p>A. 現状どおり推進 前年度に同じ</p>	特になし	クリーンセンター

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
162	我孫子市創業支援事業 市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、シンポジウム、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	<p>●『実践創業塾』プチ起業コース（夏）（冬）コース リスクが少なく無理のないかたちからビジネスにチャレンジしたい方を対象とし、起業に必要な基本の知識を1日で学ぶコース。 【日時】（夏）平成29年6月10日（土）09:15～17:00（冬）平成29年12月16日（土）09:00～17:00 【場所】我孫子南近隣センター 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 参加者（夏）11名（冬）9名 【費用】3,000円</p> <p>●『実践創業塾』本格起業コース（夏）（冬）コース 本格的な起業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証（金融機関の審査有り） ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和（金融機関の審査有り） ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】（夏）平成29年6月25日（日）、7月9日（日）・23日（日）・8月6日（日）・20日（日）09:15～17:00（冬）平成30年1月21日（日）、2月4日（日）・18日（日）、3月4日（日）・18日（日） 【場所】我孫子南近隣センター第一会議室（けやきプラザ9階）、アピスタ他 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 参加者（夏）30名（冬）12名 【費用】10,000円</p> <p>●我孫子市ビジネス交流会 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】平成29年11月11日（土）13:00～16:30 【場所】我孫子南近隣センター ホール 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。 【定員・参加者】定員50名 参加者35名 【費用】無料</p> <p>●起業個別相談会 実践創業塾やビジネス交流会などの支援を受けた後、実際にスタートするまでの間に一人で苦労してなかなか起業出来ない方が多いことから、起業前の準備段階の時期に専門的な支援を実施することで、今後の起業件数の増加に繋げる機会として開催。 【日時】平成29年9月9日（土）9:00～15:00 【場所】我孫子南近隣センター第一会議室 【対象者・定員・参加者】市内でこれから起業する方、起業して間もない方 定員15名 参加者15名 【費用】無料</p> <p>●我孫子市創業支援補助金 市内における新規事業の創出を促進し、産業の活性化及び振興を図るため、市内の空きテナント等を利用して事業をスタートする方に対し、賃料の一部を補助する。 【補助額】事業所等賃借料 【補助対象期間】交付決定日の属する月の翌月から1年間 【補助率】1/2 【補助限度額】市域西側地区 月額4万円（年額48万円） 市域東側地区 月額5万円（年額60万円） 【交付決定者】8名 【交付決定額】合計1,839,000円 上半期615,000円 下半期1,224,000円</p> <p>●我孫子市起業家紹介 パンフレット作成 市の支援メニューを利用しながら、我孫子で起業し活躍されている方々を紹介するパンフレットを作成。800部 【費用】60,480円</p> <p>●平成29年度創業塾運営に係る負担協定 特定創業支援事業者であるNPO法人ACOBが開催する実践創業塾の運営において、収支欠損が生じた際、欠損額を金444,000円を上限に負担する。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【起業者数】 平成29年度の起業者数は9名（法人3名・個人6名）</p>	<p>A. 成果・効果があった 一つの支援事業を受けただけで起業できる方は少ないため、複合的な支援が必要と考える。国に認定を受けた我孫子市創業支援事業計画において、計画の起業者目標数（平成26年度から4年間で28名）を平成29年度末時点で31名と目標数を上回ることが出来たことから、各施策共、効果があつたと考える。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 女性の起業率を高めるため、女性に特化した創業支援を行う。今後は、起業者創出が少なかったプチ起業コースを取りやめ、代わりに女性の交流会などを開催しながら、女性起業希望者や女性起業家が要望している支援策などを模索していく。</p>	<p>・プチ起業コースを女性起業・創業支援の事業に変更 ・本格起業コース2回開催を1回開催に変更 ・実践創業塾の運営を委託契約に変更</p>	企業立地推進課

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成
 基本目標 5 学びでつながるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	163	市民の学習活動への支援 広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページに登録・提供を行った。	<p>広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行い、学習に関する問い合わせに対応した。</p> <p>市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページに登録・提供を行った。</p> <p>◆指標と実績◆ HPアクセス数： 4952件 あびこ楽校ニュース発行部数：3,000部 相談対応件数： 80件 【新規登録】 人材情報： 5件 団体情報： 2件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュース、チラシ等の情報発信等により、生涯学習に対する関心が高まり、電話・窓口での学習相談が増加した。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>平成29年度はあびこ学校ニュースの発行が1回だったが、複数回発行し、生涯学習の情報発信の充実に努める。</p>	生涯学習課	
	164	(再掲) 視聴覚ライブラリーの管理・運営					生涯学習課	
	165	社会教育団体活動支援 市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の後援を行い、社会教育活動の活性化を図る。	<p>●後援 市民団体の事業の後援申請に基づき、広報への掲載や、名義の使用許可を行い社会教育活動の活性化を図った。</p> <p>◆指標と実績◆ 【後援数】 29事業</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民団体の事業の後援を行うことで、市民生活の向上や文化の振興、活動団体への支援ができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	なし	生涯学習課	
	166	文化芸術団体活動支援 文化芸術団体の活動を支援するため共催・後援事業の拡充を行い、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	<p>地域の文化活動を支援するため共催、後援事業を行う。</p> <p>◆指標と実績◆ 【共催事業数】 47件 【後援事業数】 76件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>共催、後援事業を通じて、文化団体の活動支援を十分に行うことができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民団体の積極的な文化事業をサポートするためにも今後とも積極的に共催していく。</p>	なし	文化・スポーツ課	
	167	(再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～					文化・スポーツ課	

	N O	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	168	施設・団体へ図書等の貸出サービス 市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出をした。主に図書館で選定したものを提供した。 各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出をした。 読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 【年間団体貸出冊数】 32,251冊 【団体の年間利用数】 1,807回 ◇◆指標と実績◇◆ 【年間団体貸出冊数】 32,251冊(昨年度比 102.4%)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、学級文庫実施クラス数・団体貸出冊数ともに一定のレベルを維持した。継続して実施していることで効果を上げており、子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。 団体貸出を継続して実施し、一定の貸出冊数を維持できるよう努める。	A. 現状どおり推進 市民の学習機会を充実させるために必要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
	169	鳥に関する学習への支援 鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのボードボックスの使い方などもレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学生などの研究への協力も行う。	今年度も引き続き展示解説、ガイドツアー、展示交流を行う。 夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けも行っていく。 また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行う。 ●団体来館者への展示解説 展示解説を希望する予約団体に対して、展示解説を行った(通年)。 【団体案内数】 149団体 ●ガイドツアー 土・日曜日を中心に、30分程度の館内ガイドツアーやスポットガイドを実施した(通年)。 【実施回数】61回 ●展示交流スタッフの活動 土・日曜日を中心に、展示室において展示交流スタッフによる館内の展示交流や解説を行った(通年)。開館日にはほぼ毎日展示交流スタッフが常駐した。 ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】 年間1,151件 ●調査研究への協力 博物館資料を使った調査研究への協力を行った(通年)。 ●夏休み自由研究相談(夏休み期間中) 夏休みの小中学生の自由研究の相談を受け付け対応した。 ◇◆指標と実績◇◆ 【団体来館者の解説件数】 指標:130件 実績:149件	A. 成果・効果があった 必要に応じて展示解説を行なうことで、初めての来館者も展示に親しみを持って見学することができる。市民スタッフに案内してもらうことで、展示を楽しく見ることができたという感想も寄せられている。 なし	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援 市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	市民スタッフ(H29登録者30名)で、昨年同様の活動を行う。友の会に対しては、例年通り各サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 ●市民スタッフ(30人) 【活動内容】年間を通じての展示ガイド、自然観察会ガイド、室内イベント補助、標本整理補助。 ●友の会(H29年度入会者380人・家族会員含む) 【活動内容】鳥風教室、和紙を使った工作イベント等を共催。 ◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標:370人 実績:410人(友の会会員数380人、市民スタッフ30人)	A. 成果・効果があった 市民スタッフと協働で事業を行うことで、職員だけでは対応しきれないきめこまかな来館者対応が可能となり、サービス向上につながった。また、友の会との工作を中心とした共催事業により、これまで博物館を訪れたことの無い利用者の来館を促すことができた。 なし	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築						
171	我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携 国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	●第19回国際交流スピーチ大会 【日程】9月24日(日) 【場所】市民プラザ 【内容】 英語の部9名、日本語の部6名が発表。審査の時間帯には、川村学園女子大学の藤原昌樹教授による「オリンピックの東京招致と嘉納治五郎」の講演が行われた。 ●第26回あびこ国際交流まつり 【日程】11月26日(日) 【場所】市民プラザ 【内容】テーマは「友好を翼にのせて『こんにちは！から始めよう』」。市民プラザでのダンスや演奏などの演目、ギャラリーでの各国ブースの民芸品や食べ物の販売。その他、ロビーでのお茶席、着物体験など。 ◇◆指標と実績◆◇ 【催しへの来場者数】 《スピーチ大会》 約120人 《国際交流まつり》 770人	A. 成果・効果があった ●国際交流スピーチ大会 学校への呼び掛けなどにより中高生の発表者が増え、英語の部の発表者が前年の2名から9名に増加した。参加者が自身の経験などを外国語で伝える機会を提供し、国際化に対応する人材の育成につながった。 ●あびこ国際交流まつり 来場者が多様な外国文化に触れる機会を提供し、相互理解を深めるきっかけとすることができた。	A. 現状どおり推進 引き続き我孫子市国際交流協会と連携しながら進める。 ●国際交流スピーチ大会 【日程】9月30日(日) 【場所】市民プラザ ●あびこ国際交流まつり 【日程】11月25日(日) 【場所】市民プラザ	なし	企画課

基本目標 5 学びにつながるまちづくり

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
⑤ 多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 5 学びでつながるまちづくり	172 消費生活展の実施 我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、NPOせっけんの街などといった消費団体が、消費生活展のメインテーマに沿った内容についてパネル展示や企画を行う。	●第42回消費生活展 【日程】平成30年2月3日、4日 【場所】市民プラザ 【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会 【来場者数】 811名 【対象者】市内外の消費者 ◇◆指標と実績◇◆ 【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会	A. 成果・効果があった 昨年度に比べ、入場者数が大幅にUP(前年度比127%)し、より多くの方に興味を持っていただき、また展示を見ていただくことができたと思われる。 消費生活センター独自の啓発活動を行うこともできた。 参加団体の充実(参加団体数の増加)より興味を持っていただけるテーマの選定 広報の手法	A. 現状どおり推進	第43回消費生活展 【日程】平成31年2月2日、3日 【場所】市民プラザ 【改善点】実行委員会の開催日を減らし、各委員の負担減を図ろうとしているところである。	商業観光課	
	173 エンジョイ手賀沼 市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	●Enjoy手賀沼！2017～水の館リニューアルだよ！全員集合～ 【日 時】5月14日(日) 【場 所】手賀沼親水広場 【対象者】どなたでも ◇◆指標と実績◇◆ 【来場者】 約15,000人	A. 成果・効果があった 前年同様15,000人が来場し、天候にも恵まれ非常に盛り上がった。 手賀沼周辺での探鳥会や、親子で参加できる釣り大会、カヌー・アクセスデインギの体験乗船会、生き物塗り絵やステージ発表会等を通して、多くの参加者に手賀沼に親しんでもらえた。 なし	A. 現状どおり推進 なし		手賀沼課	
	174 (再掲) 健康フェア					健康づくり支援課	
175 (再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催					手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館		

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	176	<p>青少年相談員事業</p> <p>青少年相談員連絡協議会と共催で、小中学生を対象に、夏季のキャンプやナイトウォークなどの事業を行い、冬季には、小学生の高学年を対象に綱引き大会を行うなど、子どもの自主性、協調性を育む場を提供する。</p>	<p>●青少年キャンプ 【日程】7月29日(土)から30日(日) 【場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 【募集】50人 ●青少年綱引き大会 【日程】11月25日(土) 【場所】我孫子市民体育館 【対象】市内小学校4年生から6年生</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ ●青少年キャンプ 【参加者数】45人 ●青少年綱引き大会 【参加チーム数】51チーム 【参加者数】898人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●青少年キャンプ 青少年の健やかな成長を育む活動として1泊キャンプの中で地域や年齢の異なる子どもと生活することにより、誰とでも協力することの大切さを学ぶとともに、自主性を育むことができた。 ●青少年綱引き大会 普段、運動の苦手な子にも活躍する事が出来る場を与えられた。子ども同士がそれぞれの目標に向かって協力しあい、努力する大切さを学ぶ機会となった。青少年相談員が朝、学校に向かい綱引きの練習に参加するなど、学校との連携を図り実施できた。</p> <p>●青少年キャンプ…実施時期により、熱中症が多発する事やスタッフの参加しやすい時期を考え、開催時期の見直しを行う。 ●青少年綱引き大会…29年度夏に教育委員会より、市内小・中学校の業務改善について話があった。教員の負担軽減を目標に、学校行事を含め、それ以外の行事への参加を見直していく事となった。校長会にてアンケートを取った結果、綱引き大会はとても良い事業との意見も多かったが、全生徒が参加ではない事業である事や、教員はボランティアでの応援となる事から、見直しの対象となった。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>●青少年キャンプ…課題の解消に努める。</p>	<p>●青少年キャンプ…毎年7月末など夏休み期間に実施していたが、熱中症者が例年多発する事から、30年度から秋に開催の報告を進めていく。 ●青少年綱引き大会…全小学校長にアンケートを行いアンケート結果について青少年相談連絡協議会で検討した結果、平成29年度をもって中止となった。(教員の負担軽減)</p>	子ども支援課
	177	(再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)					子ども支援課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容		平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	178	子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	<p>●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月2日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。</p> <p>●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】3月17日(土) 【内容】体験ブース、ステージショーなど。 ◇◆指標と実績◇◆ 【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ: 7586人 ●子育てフェスタ: 5096人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子育てを楽しめる場や、子育て支援活動の紹介、各種イベントを実施することで、子育てに関する情報提供及び、保護者のリフレッシュの場となった。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月1日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。</p> <p>●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】未定 【内容】体験ブース、ステージショーなど。</p>	なし	保育課
	179	学校評議員設置事業 小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	<p>【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【年度末に実施する学校評議員に対するアンケート及び各学校の学校評価結果】 (学校評議員に対するアンケート結果(H29.3実施)より抜粋) 「1 よくした」と「2 時々した」をあわせたプラス評価の割合 ①学校評議員として、学校運営に関して自分の意見を述べたか。86%。 ②学校長は、学校教育について明確なビジョンを持ちわかりやすく説明していたか。98.2%。 ③学校は学校教育目標の実現に向けて、具体的でわかりやすい独自の方策をとっていたか。96.2%。 ④学校は、教育上の課題や問題点を十分に認識していたか。96.2%。 ⑤学校は地域や保護者に必要な情報を公開していたか。95.3%。 ⑥学校は地域や保護者とうまく連携し開かれた学校を推進していたか。97.1%。 ⑦学校は、評議員の指摘した意見や課題について、具体的な対策を講じていたか。93.4%。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等からの意見を学校経営に生かすことができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定</p>	なし	学校教育課
	180	大学との協定による学校支援 学生ボランティア事業 大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用する。	<p>【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】11校 730人 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》93人 《中央学院大学》248人 《その他の大学》389人 ◇◆指標と実績◇◆ 【実働人数】730人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>・小中学校から学生ボランティアの要請を取りまとめ、高校・大学へ依頼することで学生ボランティアは増加した。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	・高校・大学と定期的に打合せを行い、学生の要望にも応えられるようにする。	指導課

No	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 5 学びでつながるまちづくり	181 キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業） 子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるように、地域社会・家庭・学校が連携し合っ て職場体験学習を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育 全小中学校においてキャリア教育を実践した。 ●職場体験学習 市内の小学校6年生を対象に半日、中学校1または2年生を対象に1～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施した。 【日程】6月～2月 【参加者】実施人数 1,211人(小学校6年生76人・中学校1年生322人・2年生813人) ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施した。 ◆指標と実績◆ 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校 【協力職場数】 451箇所 	<p>A. 成果・効果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習が、児童生徒は職業観・勤労観を身につける大きなきっかけとなった。 ・担当者会議では、「望ましい『職業観・勤労観』」の形成・確立を図る指導について協議し、適切な指導について考えることができた。 <p>職場体験学習が単なるイベントで終わらないように、「望ましい『職業観・勤労観』」の形成・確立につなげるようにする。 ・職場体験学習を引き受けてくれる事業所の開拓・連絡調整等についての教職員の負担軽減。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の開拓・連絡調整、及び事業所への児童生徒の引率に、学校支援地域本部を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職場体験学習 中学校1または2年生を対象に1～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施する。 小学校においては実施しない。 	指導課
	182 生涯学習審議会の運営 生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習審議会会議 ≪第1回≫【日程】5月26日(金) 【議事】 (1)生涯学習推進計画実施計画の平成28年度の実施状況と29年度の実施予定について 【報告事項】 (1)平成29年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画について (2)その他 ≪第2回≫【日程】11月15日(水) 【議事】 (1)生涯学習推進計画実施計画実施状況調査表について (2)生涯学習推進計画の課題について ①新たな人材の発掘について ②効率的な情報発信の方法について 【報告事項】 (1)「我孫子市ラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく審査会委員の推薦について ◆指標と実績◆ 【審議会開催数】 2回 	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>昨年度から審議会の進行の仕方については委員の方から意見があった。今年度は意見をいただきたい生涯学習推進に当たっての主だった課題について事前に事務局で準備し、委員へ提示することでより効果的な会議進行となった。</p> <p>生涯学習推進計画実施計画に位置づけられている事業について施策との整合性や、事業を位置づけるか否かについて見直す必要がある。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>審議会の進行の仕方については29年度実施した結果も踏まえて、今後の我孫子市の生涯学習推進を長目で見ても委員の皆様から意見をいただけるように進行方法を検討していく。</p>	なし	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成29年度実施内容			平成30年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり ⑨多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築	183	(再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力						図書館
	184	図書館実習生受入・施設見学 中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	《小中学校キャリア教育》《JOYボラ》《インターンシップ》《施設見学・町探検等》等を受け入れた。 ◇◆指標と実績◆◇ 【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 1,108人(前年度 1,060人)	A. 成果・効果があった 将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験を得られる機会を創出できた。 図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じて、より興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。	A. 現状どおり推進 キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからも市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。	なし		図書館
	185	山階鳥類研究所との連携・交流 テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) 【日程・内容】 毎月第2土曜午後13時30分から14時15分まで 《第1回》4月8日「生き物の不思議を暮らしに活かす『バイオミメティクス』鳥の色の話題を中心に」【参加者】41人 《第2回》5月13日「なぜアホウドリやトキを保護するの?」【参加者】15人 《第3回》6月10日「その学名でいいの? -日本鳥類目録第7版を評価する-」【参加者】30人 《第4回》7月8日「鳥類標識調査 -近年の話題から」【参加者】23人 《第5回》8月12日「書籍にみる飼鳥文化 -大正から昭和にかけて-」【参加者】32人 《第6回》10月14日「鳥の系統学の今~ハヤブサはワルぶったインコなのか~」【参加者】54人 《第7回》12月9日「都心で繁殖を始めたウミネコの生態と人の関係」【参加者】29人 《第8回》1月13日「鳥の標本ってどんなもの? はくせい標本の作り方」【参加者】41人 《第9回》2月10日「南西諸島の鳥類の不思議をDNAから探る」【参加者】44人 《第10回》3月10日「幻の絶滅鳥ミヤコショウビンの謎を追う」【参加者】29人 ●鳥学講座inJBF 【日程】11月4日(土) 【内容】「夢を運べ、北の島から日本の空へ-絶滅から復活への道を歩むシジュウカラガン」 【講師】呉地 正行さん(日本雁を保護する会会長) 【参加者】115人 ◇◆指標と実績◆◇ 【共催した講座等の数】 指標: 11回 実績: 11回	A. 成果・効果があった 協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた。 なし	A. 現状どおり推進	テーマトークについては、「てがたん」と同日の土曜日午後実施していたが、本年度から「てがたん」の翌週土曜日の午後実施することとした。	鳥の博物館	